(日刊) 夕刊
滿洲日報
（明治四十年十一月三日第三種郵便物認可）
昭和四年十二月二日 (月曜日) THE MANSHU NIPPO 第八千四百六十五號 (一)
十二月一日
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

宵闇の東京灣頭で一行の平安を祈る

驅逐隊や潛水艦の見送り裡に 全權の船晴の船路へ

【サイベリヤ丸一日發無電】横濱港外で停船旅券調の時若槻全權もサロンで旅券を出しニコニコして居た、そして船中最初のチーに出た、午後四時牛漸く旅券調べが濟み船は動き出す、雨に暮れた本牧沖から第三驅逐隊四隻太刀風を先頭にサイベリア丸の後から現はれ劉喨たる音樂を奏して歡送するのが波を傳ふて來る、若槻全權は背廣に鳥打、財部海相はモーニング姿で右甲板に立ち闇を衝いて進む太刀風の登舷禮に脱帽して敬意を表し、隨行が懷中電燈を利用して御好意を謝すと發火信號を送ると太刀風は直に萬歳を三唱し發の光を吹奏する、其時兩者の距離百メートル餘、音樂は闇の波の上を傳つて手に取る如く聞える、横須賀沖で潛水艦八隻歡迎し六時まで全權の一路平安成功を祈つて送る、財部夫人初めての航海で物珍しく、若槻、財部兩全權と共に見送りの軍艦に答禮し別れを惜む、財部海相闇中を指し懇ろに説明し夫婦仲いと睦まじ若槻全權船暈の氣味にてデッキ運動をなす

けさ飛行機で新聞投下

【東京一日發電】海軍側では全權出發當日の國民的聲援を太平洋上の全權に知らせるため當日の模様を滿載してゐる東京市内の新聞三十日夕刊と一日朝刊を一日午前六時までに横須賀に取纏め直に之を飛行機に積み込み全權の乘船を追ひ太平洋沖合でサイベリヤ丸の甲板上に投下した

兩國軍隊を撤退し鐵道復舊を協定

露支豫備交渉の方針

【ハルビン特電一日發】露支豫備交渉は基本條項の三箇條に基き開始されるが東支問題はその重點で管理局長の權限範圍は正式會議に待ち監禁ロシヤ人の即時釋放は會議決定の後となり第一の問題は兩國の軍隊を撤退しポグラ、滿洲里の即時開通聯絡が議せらるゝであらう正式會議はハルビンが有力である

呼倫貝爾の副都統逃亡

【ハルビン特電三十日發】呼倫貝爾政府は破壞され貴福副都統は逃亡し無警察狀態である、海拉爾は自警團により護られてゐる

東鐵前局長の任期

【ハルビン特電一日發】エムシャーノフ前管理局長の任期は來年の四月までゞあるから露支交渉が成立し氏が着任して來れば各幹部は其任期まで更迭しないであらうと見られてゐる

馮軍潰走 函谷關方面に

【北平三十日發電】洛陽來電に依れば徐源泉及び王均軍は二十九日午後靈寶堂附近に於て西北軍と數時間交戰之を擊破し更に西進、馮軍は函谷關方面に潰走したと

佛國旗撤去 コブレンツで

【コブレンツ三十日發電】當市では本日午前十一時十五分を期してフランス國旗を引下した、這はラインランド第二區のフランス軍駐屯が正式に終了したことを示すものである

第三國の干渉を期待する支那側

豫備交渉强硬方針か

【ハルビン特電一日發】ハバロフスクにおいて豫備會議を開始するは支那の屈辱であると言ふは疑問である、それは最後の實質的技術外交にロシヤが飽くまで强硬論を主張すれば支那は交渉が決裂し不調に終るとも東鐵から軍隊を撤退し長春以南の線に集結し對峙すれば當然第三國の勸告が現はれると信じてゐるからである、故にロシヤは表面强硬を主張しても結局實質には讓歩せねば交渉は成立しないであらう

日曜閑話

日滿社交倶樂部 是非東京に設けたい

ツイ先ごろのこと、折柄在京中の滿蒙關係者が市外五反田のラヂユウム温泉松仙閣に會合、いと打くつろいだ一夕の懇親會を催したことがあつた、集るもの梅野前理事、杉野前市長、武村前沙河口工場長、藤田昌光硝子専務、門田新松氏、村井大連市議會副議長、原田五品理事長その他數氏であつた。

× × ×

その席上、偶と話題にトつたのは「お互に忙しい用務を帶びて上京したり、また在京者と云つても可成り遠い郊外に住んで居る者もあつたりするので一々訪問するとなると却々大變だ、こんな場合何か倶樂部のやうなものでもあつたら至極便利でもあるし、また用務を片づける上から云つても甚だ便利だらうがね」と云ふ問題であつた。

× × ×

成程然う云へば朝鮮關係者の間には「朝鮮中央協會」あり臺灣關係者の團體には「臺灣協會」ありその他對外關係者の團體には「日露協會」あり「日米協會」あり、その他「H墨協會」もあれば「ベルギー協會」もあると云ふ具合に種々の目的、種々の組織の特殊團體があり、その關係土地を代表する宣傳機關若しくは親交機關となり、又は雍穆な社交倶樂部の作用をなして居るものが數多いにも拘らず、滿蒙關係者の團體若くは會合機關としては未だ餘り有力なものはないやうである。

× × ×

これを先輩の言に聽く「滿蒙協會設立の議は從來も屢々滿蒙關係者の間に問題になつたことで、曾て其具體計畫が大分進捗したこともないではないが何う云ふものかそれが纏まるまでに至らず、何時も有耶無耶に終るのが常であり、今日まで遂に權威あるものが出現するに至らなかつた」と。

× × ×

わが帝國の前途に重大な關係を有つ滿蒙經營と云ふ大きな背景を控へ、實質的機關としては關東廳や滿鐵の如き有力官廳、有力會社を有する滿蒙關係者の間に、今日まで何うして此種の權威ある團體が生まれるに至らなかつたか、殊に在京名士の中には曾て滿鐵、關東廳、軍部等の主腦者たり、現に中央に於て時めく人達が雲の如う控え居るに拘らず是等の人々を網羅する團體や會合機關が何うして是れまで實現しないのか、全く以つて不思議な事實、寡聞の記者はその理由を諒解するに苦む次第だ。

× × ×

言ふまでもなく「滿蒙協會」若くは「滿蒙中央協會」設立の議が眞面目に擡頭して來るとすれば費用の出所などは問題でない筈だ、またこれに贊成する人々も非常に多く、而も我國内の有力者、權威者を網羅することも決して難事ではあるまい。(東京支社一記者)

今後の政策遂行上議會の解散を斷行

與黨の選擧第一主義

【東京一日發電】政府並に與黨に於ては疾風迅雷的に文相の補充に依つて内閣の陣容を立直し續いて若槻、財部兩全權一行も豫定通り鹿島立ちして玆に政局も一段落を告げた上は面目を一新して議會に臨み解散を斷行することが今後に於ける政策遂行上先決問題であるとして愈々選擧第一主義を以て邁進することに決定した

鐵道省米法實施

【東京一日發電】メートル法は昭和五年四月一日を期し旅客貨物一齊に之を採用することに決定したのである

東鐵問題の各國の意見照會

米國國務長官より

【ワシントン二十九日發電】アメリカ國務長官スチムソン氏は過日日、英、獨等に在るアメリカ大使に東鐵に關する露支問題に對する各國の意見を確むるやう訓令を發したが、同國務長官は目下右諸國より何等か意見の開陳あることを待望してゐる、なほスチムソン氏自身としては此際採るべき行動について何等の提案をも用意して居ないと解されてゐる

議會解散は何時でも可能だ

但し時期は今明言出來ぬ 濱口首相の車中談

【東京一日發電】濱口首相は卅日午後四時五十五分新橋驛發列車にて鎌倉の別莊に赴いたが車中語る

議會解散の時期について最近議會解散回避說が盛んに唱へられてゐると云ふが予は之について何等の意見を持たないは云爲する譯に行かぬ、解散が本年内になるか休會明けにするか、そんなことはまだ一向考へて居ない、然し反對黨が議會に於て政策、豫算其他について正面から反對して來ないでも政府黨が少數であるとの理由を以て解散を斷行することは出來る、さて今度議會が召集され部屬の區分が決定すれば

開院式前に於ても無論可能であるがそれをするかせんか今斷言出來ない、今回の小橋文相の更迭問題が總選擧に如何なる影響を及ぼすかについては小橋君の受けた疑惑は立派に一掃されるとゝ予は確信する、果して然らば總選擧に對しても何等の悪影響を與ふるものではない

視察團輸送打合

來る六日から京城で

【京城特電一日發】第五回鮮滿視察團體輸送並に案内事務打合會議は來る十二月六、七兩日龍山鐵道局會議室に於て開催の豫定で、目下同局旅客係の手で之が準備を進めてゐるが、同會議は滿鐵、大阪商船、内地各地の滿鮮案内所、運輸事務所及び朝鮮總督府等より代表者二十七名出席の上、持寄り議案につき協議を遂げ司會者は鐵道局戸田理事が當る筈である、因に出席者は左記二十七氏である

△滿鐵 石原秋朗(情報課)彦阪武雄(營業課)海上定吉(大連鐵道事務所)川西泰一郎(東京支社)富田榮(東京鮮滿案内所)土森信之助(大阪同案内所)金子德(下關同案内所)
△大阪商船 石垣陳(仁川支店長)佐伯宗天(門司支店旅客主任)
▲本村 高堂健二(文書課)大沼喜久衛(同)加納博(商工課)猪澤勤四郎(學務課)
▲朝鮮旅館協會長新田新兵衛
▲鐵道局 佐藤作郎(營業課)外五名
▲京城運輸事務所 大門求馬外大田、釜山、平壤、清津より各一名宛

提出議題

一、不良旅館制裁に關する件
一、朝鮮主要地遊覽順序及車馬賃銀調表の件外八件(東京案内所)
一、辨當包紙並にナプキンには其地を中心とする地歴關係及名物を簡略に印刷せられたき件外十三件(大阪案内所)
一、活動寫眞宣傳蓄音機併用の件外五件(下關案内所)
一、團體名電略制定外五件(滿鐵)
一、學生團體に對する一泊二食附料金制定されたき件外十件(同哈爾賓事務所)
一、鮮滿視察團各季出動を勸誘の件外三件(大阪商船)
一、團體宿泊料金に關する件
一、日程作成上の注意の件外五件(鐵道局)

けさ歸任した太田長官と家族

豫算は大體通過

關東廳の異動は大袈裟で無い 議會は明春再開後斷行されん

太田關東長官歸任談

豫算打合せ其他要務を帶びて先月十六日家族同伴上京中の太田關東長官は郷里に寄り小雨降る一日午前八時入港のうらる丸にて歸連したが、埠頭には神田内務局長、關東廳各部課長、田中民政署長、石本市長外官民有志多數の出迎へあり、長官は船中にて語る
公用私用で案外遲くなつた、豫算編成は僅か二時間で完了し實に順調に運んだ、關東廳要求の主要なるもの、州内警備費、鹽業試驗場費は

大體無事通過したが彼の輸出貿易信用補償制度の費用約三十萬圓は商工省で内地だけを直轄にやつて居り之は幾分問題となるだらう、其他新規事業に關しては未だ目下會議を續けて居り五日頃終つて西山氏が歸つて來る迄詳細は判らない

製鋼所の問題に就いては今回在京中何も觸れなかつた、關東廳の人事異動と言つても空いた椅子に新しく補充する事は平常から行つてゐる事で取立てゝ大異動をやるわけではないと評者の追求を巧に避けて話頭を轉じ

輸出補償制度は愈よ實施の見込

きのふ關東廳へ入電

州内及び滿鐵沿線に實施さるゝ關東廳の輸出補償制度に就ては目下關東廳は明年度豫算に於て二十三萬圓を計上し盛んに政府當局に對し其實現方を折衝中である、而して右は目下緊縮内閣の折柄とて一般には頗る實現を危ぶまれてゐるも三十日本廳への入電に依れば同案は既に拓務省は難なく通過目下大藏省に於て審議中にして同省とは商工省よりの希望もあり頗る好意を以て審理中であるので明年こそは愈々實現を見るものと豫想されてゐると

新年文藝・寫眞募集

恒例により昭和五年新春紙上を飾るべき文藝作品及び寫眞を一般讀者から募集します、左記規定により應募を希望します

短篇小說 一篇十五字詰百五十行、一名一篇以内、編輯局選
和歌、俳句、短詩、川柳 新年雜詠、和歌は一名五首、短詩は三篇、俳句、川柳は五句以内、編輯局選
寫眞 新題、干支に因めるもの、大さキャビネ以上、新聞掲載に適するもの一名三枚以内、編輯局選
賞金 短篇小說一等三十圓、二等二十圓、三等十圓▲和歌、俳句、短詩、川柳一等五圓、二等三圓、三等一圓▲寫眞一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓
締切 昭和四年十二月五日限、總て「滿日新年文藝又は新年寫眞」と表記し、本社編輯局宛送附の事、應募作品は如何なる理由あるも返戻せず

滿洲日報社編輯局

太田長官歸任

在旅官民出迎

一日朝無事歸連した太田關東長官並びに同夫人家族隨行の小林秘書官、水谷地方課長、佐藤理事官、飽田屬其他は大連まで出迎への神田内務局長はじめ日下文書、藤田學務、西山警務、三浦外事其他各課長高官連と共に數臺の自動車を連ねて旅大道路を旅順に歸着、午前九時五十五分、藤原民政署長、警察署長、永山市長外在旅有志並びに關東廳高官夫人連多數の出迎へを受けつゝ官邸に入つた、官邸ではシャンペンの盃を擧げて歸邸を祝ひ十時半解散した

佐分利の急死は實に氣の毒だ、在京中一度も面會しなかつたが怎うしたのだらう

と一日の本紙朝刊を讀んで不審の態であつた、尚内閣の事に話及ぶや

小橋文相の態度は實に男らしい見上げたものだ、全くつまらぬ係り合ひで氏には氣の毒な事だ、内閣は田中氏を後任に入れて動搖無く議會に臨むだらう、今議會の解散は到底避け難く年が明けてから時機を見て斷行されるだらうが閣僚の一人が變つたからとて政府の對議會策には毫も變りは無い

在滿邦商の仕入改善が必要

連鎖商店の指導者美川氏談

大連連鎖商店經營指導者として招聘された美川多三郎氏は神島秘書同伴一日入港のうらる丸にて來連したが船中にて語る
此九月以降歸京してゐて連鎖商店が實際どの程度迄完成してゐるか其後の事は知りませんので先づ何から取りかへるか

實際に當つて見なければ何とも申上げられませんが大體連鎖商店の各商店が餘り仕入を急ぎ過ぎる嫌ひがあります、最も手數のかゝる店内設備等を最初に手をかけて仕入は後から特に金解禁を前に控えた輸入組合の低利資金を借り入れて現金を以て仕入れば良品が安く手に入るのですが既に早くから何處でも仕入が終つて

ストックを持て餘してゐる事は不利な事です、以前吳々も言つておいたのですが、總體滿洲の商人は商品仕入に就いて改善する必要があります、大量仕入の値段で少量の商品を購入し成るべくストックを少くするのが我々商人としての重要な心得ですが今後連鎖商店

經營に就いても協力一致此點考慮してやつてみたいと思つてゐます

人事

▲小林鐵太郎氏(長官秘書)同上
▲辻村楠造氏(元主計總監)同上
▲水谷秀夫氏(關東廳地方課長)同
▲原田猪八郎氏(原田組主)同上
▲美川多三郎氏(白木屋支配人)同上來連
▲田所耕耘氏(滿鐵審査役)同上歸連
▲遠藤繁清氏(大連結核療養所長)同上來連
▲クレイトン博士(ブラナモンド社重役)同上來連
▲太田政弘氏(關東長官)民惠夫人令息同伴一日入港のうらる丸にて歸連

滿日笑話

ハイラル 凸坊
甲「とうとう支那軍は海拉爾も放棄したんだつてね!」
乙「それやさうさ、ハイヤルだもの……」

天氣豫報

(二日)北の風雨又は雪模樣後晴れ

日出 六、五三 日沒 四、三二
滿潮 前一〇、三五 後一一、九五
干潮 前五、〇〇 後四、三〇

各地溫度

	午前十一時	昨日最低
大連	八、九	〇、二
旅順	九、三	〇、二、四
營口	二、四	〇、六、七
奉天	〇、二	〇、七、四
長春	〇、二、八	〇、二、九

佐分利公使の死は矢張「自殺と認む」
昨夜牛江口搜査課長から報告 念のため死體を解剖

【東京一日發電】佐分利公使の死に對し三十日夜半近く箱根の江口搜査課長より丸山警視總監宛「自殺と認む」との報告があつたが其理由とされるは

一、公使の寢室には絶對に他人の侵入した形跡はない
二、ピストルは右の手に固く握られこれを取亂した形跡なく、而かもその握り詰めた力は非常に強く若し動かせば第二彈が發射されん危險あつたものである
三、問題の彈の傷は矢張り右から左に打込んだものらしく疑はれた打込んだ方の穴が大きく出た方が小さいことも百に一つはあることである
四、ピストルはクルト式大型八連發で矢張佐分利氏の所有らしく氏のトランクを帝國ホテルにて調べたところ同一の彈丸を發見した

と云ふに在り愈々最後の決定を下す爲解剖をなし根本的解決を圖るに決し本日午後帝大醫學部にて解剖に附するに至つた模樣である

昨夜も官舍で悲しい通夜

【東京一日發電】自殺か他殺か謎は未だ秘められたまゝ故佐分利公使の遺骸は三十日夜も外務省官舍に安置されて同僚知友は第二夜の通夜を行つた、茶毘埋葬その他今後の處置は今朝故人の親友山形高等學校長柴山氏の上京を待ち親族會議の結果決定することゝなつた

=稀らしい師走の雨=

重園—○齋藤
△奉鐵(二點)=沙道(三點)
本田—○中村
新居×田中
速水—○大畑
西本—○古賀
久保—○木村
△大道(三點)=撫道(零)
○大野—大塚
○宮崎—廣田
○岡部—今里
○今里—清水
野崎×三雲
△三州(二點)=大武B(一點)
桑原—○岩本
猿渡×西村
○平山—境
○阿蘇—市丸
石津×吉永
△沙道(三點)=大石橋(二點)
中村×廣津
○大畑—小林
○田中—久保田
○西村—永井
木村—○阿部

〈工專(得點一點)=醫大(得點四點)
小林—○川畑
○三宅—門脇
細田—○雨森
吉田—○菱沼
高瀬—○安武
△奉道(一點)=大武A(二點)
○安原—○三間
○伊木—佐分利
藤本×井上(弘)
黑岩×井上(晉)

24—25
馮庸軍惜しくも工專軍に敗る 兩雄壯烈な籃球戰

籃球北方の覇者馮庸大學軍と南方の雄者工業專門學校軍との籃球戰は細雨に煙る一日午前十時三十分大連二中コートに於て宮畑、伊藤兩氏審判の下に

爭覇の戰 を開いたが、工專軍初め調子よく、試合開始後直ちに得點を得、斷然馮庸軍を壓したが、クオータータイムに馮庸軍メンバーを變へ、陣容を整へして其鋭鋒あたり難く、馮庸軍はロングシュート皆功を奏して、工專軍はフリースロー殆ど成功せず、ハーフタイムまでは工專軍斷然押されて四點を先取されるに至つた、ハーフタイム後工專もメンバーを新たにして先鋒速の激勵の下に敢然として馮庸軍に向つたが馮庸軍も之を邀ふる

伯仲して 火花を散らし物技相ームの完全なる連絡を以てし一點を取れば吾も一點を奪ひ、一點を加へれば彼また一點を進め…までに爭つたが、十一時三十二分タイムアップとなり、二十五對二十四にて工專軍遂に凱歌を揚げわずか一點の差にて馮庸遠征軍遂に涙をのむに至つた

工專 {15 10 — 10 14} 馮庸
審判 宮畑、伊藤
開戰 午前十時三十分 閉戰 同十一時三十二分

(工專) F 田原村、奧黑 C 原中、夢山 G 田校村、池津
(馮庸) F 張壯根、威李 C 清編威 G 鳳英文、春玉振、李馬靑

中學聯合の武道大會 成績は不發表

大連一中、大連二中、旅順一中及び大連商業の四校よりなる第三回州內中等學校聯合武道大會は一日午前十時より大連商業學校武道場に於て盛大に開始された、正午豫定通り午前の部である一本勝負を終了したが、四校の校長會議により午前の部の成績は發表しないことになつた

神明A組優勝す 猛烈なる白熱戰を演じ
全滿女子籃球選手權大會

滿洲體育協會主催全滿女子籃球選手權大會は一日午前九時二十分より神明高女屋內コートに於て開始されたが各試合毎に試合は高調し雨にもめげず場內を埋めた女子の應援團の聲援と共に試合は益々白熱化し殊に彌生組對神明B組の試合は猛烈なシーソーゲームを演じ最後まで全く勝敗の豫想を許さなかつたが神明軍タイムアップ前三十秒に二個の貴重なるFGを得て遂に勝ち結局優勝戰は神明同志の試合となつたが神明B組疲勞のために棄權し眞紅の優勝旗は林田體協主事より優勝チーム神明高女A組主將大塚孃に授與され目出度午後一時二十分閉會を告げた、試合經過次の如し

B神明高女組 22 {13—9 8—0} 18 彌生高女C組
審判 黑田、大山
開戰午前九時二十五分閉戰同十時十五分
得點 4 14 0 0 0 4
神明B 屋藤子井西上 F 土齋金金今井 C G
FG 9 FT 4 P 9
得點 11 1 4 2 0 0
彌生C 柳 秋馬大神宮 山淵坂成原 F C G
FG 7 FT 4 P 8

B彌生高女組 31 {14—0 17—6} 6 協滿鐵婦會
審判 黑田、田島
開戰午前十時廿分閉戰同十一時十分
得點 2 8 10 3 4 0 4
彌生B 場松谷浦出 馬永葛坂 山澤 崎出 F C G
FG 15 FT 1 P 3
得點 0 0 0 0 0 2 2 2 0
滿鐵 保內澤 原原濱村田石 久大山中沖先中三豐立 F C G
FG 3 FT 0 P 7

準優勝戰

B神明高女組 31 {14—19 17—16} 35 A彌生高女組
審判 大山、田島
開戰午前十一時廿五分閉戰同十二時十五分
得點 15 12 2 0 9
神明B 屋藤子井 土齋金金 井上 F C G
FG 15 FT 8 P 2
得點 17 4 8 4 0 2
彌生A 川岡 日本崎 浪 成田 山中 F C G
FG 17 FT 1 P 9

A神明高女組 42 {17—9 25—15} 24 B彌生高女組
審判 黑田、大山
開戰午後零時二十分閉戰同一時十分
得點 8 9 7 0 0
神明A 場 松田田 崎
彌生B 馬 永坂 山 F C G
FG 9 FT 6 P 5
得點 2 1 1 2 1 0 6 7 0 1 2 1 1
A 江塚崎原山井野田田山 大大宮小槇岩矢高下杉 F C G
FG 9 FT 4 P 6

春よりも盛り澤山な藤原義江の曲目
北歐物の難曲から日本滿洲の民謠まで廿曲の多數

本社主催の藤原義江獨唱會はいよいよ來る五日午後六時半から協和會館に開催されるが當日演奏すべき曲目については今春當地に演奏會を開いた關係から、その當時と

重複せぬ 樣細心の考慮を費した結果北歐物を主とする第一部及び日本物を主とする第二部とし左記のごとくヘンデル、シューベルト、ペルコレージ、シューマン、クライスラー、ドンゼッチ、レエガー等の獨、伊の大曲及び難曲を選び、山田耕作、堀內敬三、中山晉平、滿洲の童謠民謠は村岡樂童の作曲になる動かぬ風車、曠野の雪の日本唄、終りに歌劇物二曲を唄ふこととなつて居り、この春に比べて頗る盛たくさんである、これら何れもを豐富な

表現方と 天稟の美聲とによつて縱橫に唄ひこなすところ聽衆の興味が遺憾なく發揮されることであらう

第一部 (一)汝何處へ(ヘンデル曲)ニーナ(ペルゴレーヂ曲)戀の妙藥(ドニゼッチ曲)(二)汝は離ひなれ(シューベルト曲)われ夢に泣けり(シューマン曲)マツキンの古歌(クライスラー曲)マリアの子供(レエガー曲)休憩

第二部 たぬき囃(山田耕作作曲)ペチカ(同上)ひがんばな(同上)鳥の番雀の番(同上)(二)佐渡おけさ(堀內敬三編曲)宵待草(多忠亮曲)せつせつせ(伊藤祐司編曲)動かぬ風車(村岡樂童曲)曠野の雪(同上)出船の港(中山晉平曲)青き花(增澤健曲)(三)歌劇「メヒイストフエレ」より(ボイト曲)同「カルメン」より(ビゼエ曲)

前賣切符 三日から滿鐵社員クラブで發賣

同會費は一般二圓で滿日讀者並に大連滿鐵社員クラブ員は一圓五十錢制服制帽の學生に限り七十錢で會員券は三日より社員クラブで發賣するが會員券購求と同時に座席券と引換へられたく、倶樂部員は後拂の傳票扱ひをなす由

強豪十三チーム物すごい肉彈戰
全滿洲柔道有段者團體が けふ優勝旗爭覇戰

第七回全滿洲柔道有段者團體優勝旗爭覇戰は一日午前十時より大連滿鐵道場に於て開催されたが當日出場の各地チームは滿鐵大連、沙河口道場を初め武德會支所、撫順、奉天、長春、大石橋、旅順等の強豪十三チーム、一粒選りの有段者約七十名に上り日曜のことゝて觀覽者も非常に多數に上り赤羽前滿鐵理事の優勝カップ、山下汽船鶴木氏寄贈の優勝刀一振等の爭奪戰に眞に龍驤虎搏の大試合を行つたが午前中の戰績は左の通りである、出場の筈であつた昭和倶樂部は都合で棄權し旅順警察と三州會の決勝戰後正午休憩し午後より引續き二勝者戰に入つた(○印勝、×印引分)

◇…肉彈相搏つ(けふの柔道有段者團體戰)

守備隊新入營兵 けふ大連驛發奧地へ

卅日來連せる獨立守備隊新入營兵千六十九名は一日十時半大連驛發列車より左の如く三回に亘り各任地に向け出發した

△十時半 三大隊一中隊、四大隊四中隊、六大隊二中隊、六大隊四中隊
△十一時五十分 一大隊各中隊、三大隊三、四中隊、五大隊一中隊
△二十二時 二大隊各中隊、四大隊一、二、三中隊、五大隊二、三、四中隊、六大隊一、三中隊

師走の巷
夜逃=家出=誘拐 痛ましい社會の裏面

冷たい無情の風が人間の生活苦に吹きつける師走——色と慾との葛藤が社會の裏面から描き出される月……山口縣宇部市犬塚宗僧侶正法實租(四〇)は佛の道を說く身を忘れ去る十月十四日鄕里に於て數千圓の詐欺橫領を働き、珠數と寺院をかなぐり捨て妻子五人を連れ大連方面へ夜逃げしたことが判明、一日山口縣警察から大連署へ取押へ方を電報して來た

◇

長春三笠町二十八番地質商藤川四郎(三七)は多額の借金を負ふて債鬼に責められてゐたが去る十月下旬鄕里福岡に金策にゆくと稱して家出した儘行方不明となり筑前琵琶の師匠をしてゐた妻女キク(三七)も其後夫の後を追ふて行方を晦ました

◇

市內紀伊町林茂正の義妹初子(二三)は三十日午後八時ごろ都に憧れて上京するとの遺書を殘して家出した旨大連署に屆け出あり搜査の結果市內某所の情夫の許に身を隱してゐたところを發見さる

◇

愛媛縣新居郡金物商田坂久五郎(三三)は先月中旬福岡縣小倉市堀ヌイ(二七)を誘拐し大連方面に賣飛ばす的で逃走した形跡あり三十日大連署に手配があつた

星ヶ浦方面 電話故障
昨夜來の雨で

廿九日夜より星ヶ浦一帶の電話線が障害を起したので滿鐵電氣係で補修を加へしも三十日夜來の雨で更に故障を生じ同方面電話加入者は大迷惑を被つたが之に對し遞信當局では語る

電話の障害箇所は星ヶ浦ゴルフ場以遠で此方面の電話線即ち五十八人分のケーブル線(四十八人分遞信局十八人分滿鐵使用)は架設費及補修費は滿鐵が持つことゝなつてゐる關係から二十九日夜の障害に對しても滿鐵から補修に當つてゐたが遞信局からも應援して三十日正午に復舊した然るに同夜の雨でまたく故障を生じたので局でも非番員を招集して滿鐵と協力復舊に努めつゝあるが間もなく開通する筈である、原因は架空ケーブル線に雨水が透浸したゝめで復舊補修には別に困難ではない

けふの雨
明日は晴れるが寒くならう

雪が降らねばならない師走に入つてなま溫かい雨が降るとは不思議のやうだがこれについて大連測候所員は語る

師走の雨は滿洲として珍らしいが年によつては一回位こうした雨を見ることもあるやうです、明日は風も北になつて天候も回復するでせう一寸寒くなりさうです、雨は一日だけせうが風の變り次第では雪になるかも知れぬ、青島の西方に低氣壓が生じその影響は遼東半島、青島、天津及びその奧地にまで及んで相當廣汎に亙つてゐる、奉天は雪が降つてるが大連は降りみ降らずみの雨だけで晴れはせぬかと思はれます

自動車が海に飛込
水谷課長の荷物を載せた

一日午前十時海務局自動車第一〇二號は李運轉手操縱し當日歸任した關東廳水谷地方課長の手荷物を積載、地方課員一名同乘して旅順へ向つたが途中龍王塘に於て操縱を過り海中に飛び込み車體を泥の中に突込んだが幸ひ同乘者に怪我も無く直ちに海務局より救助の自動車を急行せしめた

二名の邦人賊

去月廿三日市內千草町滿電社員齋藤光雄方便所より侵入し價格約五百圓の衣類その他貴金屬を竊取した犯人については沙河口署で搜查中二十九日午後九時ごろ常盤橋附近において右贓品を所持して居る二名の日本人を沙河口署刑事が發見し本署に引致して取調べたところ右日本人は市內聖德街三丁目岡本表具店方上田寅一(三七)同大正通り佐伯隆義(三七)にて前記齋藤方の犯人は同人等であることが判明したが佐伯は前科二犯あり目下餘罪取調中

洗張品を橫領

市內沙河口巴町九七洗張業石村德男(四六)は大黑町吉原某外十數軒より洗張品を依賴され何れも第八博多屋その他に入質し費消して居つたのを沙河口署員に探知され三十日午後二時ごろ自宅において橫領犯人として逮捕された

コドモページ

學校劇　正しき道（下）

濱野健三郎

第二幕

―少年の家の應接室、中央にテーブル、椅子、煖爐には火が赤々と燃えてゐる。

少年の父椅子にもたれて新聞を讀んでゐる。

―左手のドアを勢よく開けて、少年が入つて來る。

少年。父さん有りましたよ。ほら（財布を見せる）

父。ほゝう、それはよかつた、どこに有つたの。

少年。雜貨屋の入口に落したんです。僕ね、道をさがしたけれど無かつたので雜貨屋に行つて聞いて見たら初めの中は無いと言ふんですよ。僕困つてね、無かつたら大變でせう。それでもう一度道をさがして見やうと思つて歸らうとしたらあそこの小さい支那人が、忘れてゐたと言つて出してくれたんですよ。

父。さうか、それは何よりだ。これから氣を付けなさいよ。

少年。えゝ、ところがね父さん、どうもあそこの主人がをかしいんですよ。僕が行つたらね、にこにこして出て來て僕が財布落ちて無いかと聞いたら無かつたと言ふんですよ。そして小ハイをにらまへながら、無かつたなと聞くと小ハイは無いと少さな聲で答へたんです。だから僕仕方なく歸らうとしたら。小ハイが有つた有つたと言つて出してくれたんです。その時の主人の顏つたら無かつたんですよ。

父。ほゝ、さうだつたか、ぢや主人がかくしてたんだな。それにしても其の小ハイは正直だな。

少年。僕もそう思うんです、そして僕が歸りかけると主人がさんざんひどい目に遭はしてとうとう小ハイを追出してしまつたんです。

父。それはかわいさうだな。

少年。ほんとうにかわいさうです。それも僕のために追ひ出されたやうなものですから氣のどくです。お父さん、あの小ハイをうちで雇つたらどうでせう。お母さんはいゝボーイがあつたら雇ひたいと言つて居らつしやつたから。

父。それは、いゝところに氣がついた。

少年。では僕が行つて呼んで來ませう。

（少年急いで外に飛び出す）

……間……

少年。雜貨屋の前で泣いてゐたから連れてきました（入口の處をみて）遠慮がいらないからお入り（小ハイは恐る恐る入つて來て少年のお父さんの前に頭を下げる）

父。（ニコニコしながら）あゝ、この小ハイが成程正直さうな顏をしてゐる。お前は雜貨屋を追ひ出されたさうだがこれからうちで手傳ひをしてくれないか。

李。有難うございます。

少年。これから僕と一緒に遊ばうね。

李。ハイ（嬉しさうな顏をする）

少年。ではお母さんにこのことを話をしやう、李君僕と一緒においで

（少年は李の手をひいて退場、お父さんはニコニコしながら二人のあとを見送る）

……幕……

キミノ カホガ ウツツテルヨ

―ホウラ　アソコニ　キミ　ノカホ　ガ　ウツツテルヨ。
―アー　キミ　モ　ウツツテル　アツ　イマ　ワラツタ　ワラツタ　アハヽヽ
―アハヽヽ　オモシロイナア。【キノフ　カガミガイケデウツス】

フユ　ニハ　メヅラシイ　アタタカナ　ヒ　ガ　ツヅイテ　カガミガイケ　ノ　ミヅ　モ　ハルサキノ　ヤウニ　ヌルンデヰマス。ヒデチヤン　ト　ターチヤン　トハ　ミヅ　ニ　ウツル　ジブンタチノ　カゲ　ヲ　ハシ　ノ　ウヘ　カラ　ナガメテ　シキリニ　オモシロガツテヰマス。

ニドメノ 大チヤンノタンケン（152）

ハルミチ作　ジラウ畫

大チヤン　ハ　センシツノ　ナカデ　ベリスコープ　ヲ　ノゾクト　ウミ　ノ　ウヘ　ヲ　オヨイデキル　マモノ　ノ　スガタガ　ハツキリ　レンズニ　ウツリマシタ。

マモノ　ハ　イママデ　ウミノ　ウヘ　ニ　ウカンデヰタ　センスヰテイガ　キユウニ　ミエナクナツタノデ　キヨロキヨロ　アタリ　ヲ　ミマワシテ　キマシタガ

ヤガテ　ユウユウト　オヨギハジメマシタ。大チヤンタチ　ハ　ベリスコープ　ヲ　ノゾキナガラ　マモノニ　キヅカレナイヤウニ　アトヲ　ツケテ　イキマシタ。

冬の童謠

大廣場小學校三年生作品

こじきの子

吉野五郎

こじきの　にいやん
かはいさう
着物一まい
さむいだらう
まい日まい日
さむいだらう
これから雪も
たくさんふるよ
ふればふるほど
さむいだらう
にいやんほんとに
かはいさう
着物一まい
かはいさう

冬の夜

白仁田朗

だんだんふける
冬の夜
さらさら粉雪が
ふつてます
かちかちならす
よまはりが
うちの前を
通ります
わんわんほえる
犬のこえ
粉雪さらさら
ふつてます

夜番の月

井上浩

冬の風吹く
寒い晩
お空でひとり
夜番する
お月樣は
かはいさう
びゆうびゆう風が
强く吹く
それでも
月は夜番する
電信柱に
吹く風は
びゆうびゆうと
音がする
それでも
月はたゞひとり
空でひとりで
夜番する
冬の風吹く寒い晩
たつたひとりで
夜番する

みなちつた

松内銅次郎

だんだんさむく
なり出した
きれいな花も
みなちつた
かはいさうに
みなちつた
こすもすえぞ菊
みなちつた
きれいな花たち
みなちつた

兒童の作品

朝

沙河口校一年生　松屋幹三

デンシヤ　ノ　オト　デ　メガ　サメマシタ。トケイ　ヲ　ミルト　モウ　六ジハン　デシタ。ソレ　カラ　ソト　ヲ　ミルト　ユキ　ガ　フツテ　キマシタ。オトウサン　ニ　キイタラ　雨　ガフツテ　カミナリ　ガ　ナツテ　ユキ　ガ　フツタト　イヒマシタ。ソレ　カラ　オカアサン　ガ　ボク　ノ　オトウト　ヲ　オコシタラ「ナンダ、ユメ　ダツタカ」ト　イヒマシタ。

カクレンボウ

沙河口校一年生　マスミフサヲ

ボク　ハ　ジヤンケンポイ　ヲ　シテ　マケマシタ。ソレダカラ　オニ　ニ　ナツテ「マダヨ、マダヨ」ト　イヒマシタ。「ヨシ」ト　ユツタ　カラ　イキマシタ。一バン　ニ　ミツケタ　ノハ　ボク　ノ　ネエサン　デシタ。アト　ハ　ミツカラナイ　カラ「シンキ、キマツタ」ト　十五ヘン　イヒマシタ。ソレ　デモ　デテナイ　カラ「ヤメタ」トイヒマシタ。

和歌

神明高女二年生作品

市橋ツル子

くさむらに硝子のかけら輝きて野の逍歩む青き月かな
×
今宵はもひとりめざめて長廊下あゆめば青き月あかりかな
×
何となく淋しくなれば靴音を立てゝ見るなり午後の教室
×
つたの葉を踏めば冷たき朝の露わが足うすくぬれて光れり
×
誰か知ら靴音わびしく通りけり深きうれひのあるが如くに

須永登[illegible]子

とんぼ追ふ子を母は目で追ひて一つとるごと笑みて答ふる
×
首たれてろばが買はれて行きました廣い滿洲野の夏の夕べに

新刊教育書紹介

▲學校美術（十二月號）技能的教科の學習過程について、歐米の美術教育、昭和四年回顧座談會その他（東京市下谷區上根岸學校美術協會）

懸賞兒童讀物

締切……十二月五日限り

平安異香（186）

葉多默太郎作　中一彌畫

戀の行方（三）

散策——今でいふ輕業をやらうといふ藤丸。

二三十年前には流行つてゐたが此ごろでは滅多に見ないので、こりや受けるだらうと陣十郎は乘氣になつたらしい樣子だつた。

「いゝにはいゝだらうが相棒に困るだらう。笛や太鼓と違つて、こいつは俄仕込が利かねエ」

「なあに親方さん、わけはない——」

といつて藤丸は赤鯛のやうな小さな眼をチラと邦貞に向けて、

「この人なら大丈夫だと思ふんですがね。體は輕さうだし、この間のやうに紅殻を塗りや一人前の天竺の黑ん坊で通るんだし、まつたくうつてつけの相棒ですよ」

「だが、お前さん……」

おつれが云はうとすると、

「この人は素人だから駄目だと云ふのだらう。が、こつちが動くんだから、たゞびくくしないで、じつと體をこつちへ任せてさへゐりやいゝのだから、誰にでも出來るわけさ。そのうちにゆるゆる仕込はしてやりますがね」

藤丸は獨りで呑込んで陣十郎を說[illegible]るのだつた。

「さうか」

と陣十郎もその氣になつたらしい。

「何れにせよ損のゆく話でない——邦公、一つやつてみないか」

「……」

邦貞は常懲した胸の病があるのでそんな激しいものに堪へられるかどうかゝまづ不安になるのだつた。

で、返答に困つてゐると、

「どうしたんだ」

と陣十郎の聲が變つて來る。

「お前、いやなのか。いやだといふのか」

「……」

「俺の所では、お前等に一切是非のとは云はさねエことになつてゐることを知つてゐる筈だつたな。俺に不服ならとつとゝ何處へでも行つて貰ひてエ。もとく此方から仲間に入つてくれと頼んだお前ではなかつた。幸の身の代に使つてくれといつたお前だつたな」

邦貞は、じつと唇を噛んでゐたが、自暴自棄な反抗的な心持になつて、

「やりませう」

といつた。

そして、すぐにその稽古が始まつた。

河堤の斜面に生えた松が稽古臺である。その松の川の方へ眞直に伸びた枝で、初手の膽だめしをしようといふのだつた。が、稽古にかゝる前に、藤丸が邦貞に——尤もその眞底は仲間の者に自分の利口さを見せるためらしく、いやに氣障な口調で教誨めいたことをいつた。

「邦さん、かういふことは度胸一つのものだよ。恐いと思ふと足が震へて落ちる。平氣でゐりや綱だつて渡れるものさ、誰にでもね。つまりなんだ稽古といふなあその度胸をこさへる方便さ。あたしや親爺からこんな話を聞いた事がある。親爺の弟子に源公といふ薄野呂な男があつて、それがこの散策を稽古してゐた時の話だが、梯子の上で、足を引つ懸けて逆艪にぶら下るやつをやつてゐましたのさ。ところがおつかなくてなかくうまくゆかない。すると或る夜のこと、その源公が逆釣がうまくやれた夢を見たのです。明日になると、それが夢ではなく昨日のことのやうに思へて大した元氣だつたのださうです。

「親方、今日は何をやらう」

「逆釣をやつてみな」

「逆釣は昨日のでいゝだらう。何度やつたつて同じこつた」

と云つて源公は梯子に驅登つてひよつと足を懸けてきれいにぶら下つたのです。

皆は驚いて、

「やあ、源公、うめえな。昨日とはすつかり樣子が違ふぜ」

と云つたのです。云はれてふと氣がついたんですね、源公の奴。

「あ、夢だつた——」

と云つたかと思ふと足が外れて落ちてしまつた。源公ですか、それつきり不具者になつて一生親爺の厄介者になつたと聞きましたがね——」

新聞の不配達の故障其他は電話四七六七番へ

滿洲日報

ハバロフスクに於て露支間の交渉始まる
いよ／＼一兩日中に

【ハルビン一日發電】歐亞連絡の幹線東鐵を挾んで國境に武力對峙してゐた露支關係は支那側の破天荒な讓歩に依り急轉直下平和的手段に依る東鐵管理權爭奪戰がいよ／＼一兩日中にハバロフスクに於て支那代表蔡運升氏とロシア代表シマノフスキー氏との間に行はれることゝなつたが、東鐵に對する露支兩國の勢力の消長は日本の滿蒙政策に至大の關係を有するので滿鐵及我出先官憲は本國政府の訓令に依りその成行を頗る重大視してゐる

露支交渉の難關は管理局長の復任
同問題で東北政權が讓歩せば行政長官等連袂辭職

【ハルビン一日發電】露支交渉開始に依り去る七月以來武力に依る東西國境封鎖の解除も近づきつゝあるが、豫備交渉の最大難關はロシアの要求にかゝる蘭正副管理局長の無條件復職で支那が之を即座に確認する時は先のクーデターは全く無意味となり且つ支那の面目は國際的に丸潰れとなるので交渉は幾度か危機に瀕するものと解せられてゐる、而して當地支那側ではロシアが飽くまで右要求を主張する時は交渉再び決裂の虞あると鼻息頗る荒く若し支那が之に折れる時は行政長官張景惠氏以下事件の責任者は連袂辭職することに申合せてゐると

流言蜚語流布に奉天省民の不安
戒嚴令下の如き嚴戒

【奉天特電一日發】北滿の形勢急迫以來奉天省城內には盛に流言蜚語放たれ一面奉天派に對し對露失政に就し張學良怨嗟の聲と共に恐怖時代を現出せんとしつゝありために臧良氏は戒嚴令にも等しく警戒をなしてゐるが本朝來在奉中の張作相氏が監禁されたとの說が傳へられ又戰線にある第一軍長王樹常氏もハルビンに於て監禁されたと傳へ更に財政廳長辭職說が流布され一大恐怖時代を現出してゐるが右は一部の宣傳らしく某消息通は語る

今回の對露交渉は張作相氏の意志によるもので張學良氏として張作相氏から鼎の輕重を問はれた形で恐らく學良氏としては張作相氏に對して好感を以てゐないであらうがさりとて今の場合張作相氏を監禁するやうなことはよもなし得まい、果してそれが事實とせんか戰線にある吉林軍はいかに態度を豹變せんも計り難く旁々左樣なことはあり得ないことである

奉露交渉に反對の陰謀
ロシア政府が指摘

【モスクワ三十日發電】ロシア政府當局は東支鐵道問題を解決せんとする奉露直接交渉に對し國際的反對陰謀が行はれてゐるを指摘し南京政府がワシントンジユネーヴ及その他の諸國の首都に於て滿洲問題を更に紛糾せしめんとする策動あるを知りながら之を默過してゐるが、今正に問題の平和的解決を見んとしてゐるのに鑑み不都合であるとて之を攻擊してゐる、又十一月十四日附南京政府の對露覺書の送達が二週間以上も遲延せるについて當地の新聞は極度に憤慨し

この遲延は偶然ではない、南京政府が時局を紛糾せしめるに都合良き時機を見計つてこれを送達せるものである

と云つてゐる、當地の政界は奉天側が東支鐵道の露人支配人、副支配人を復職せしむるを承諾しアメリカ筋若くば國際聯盟筋の凡有調停を拒絕せんことを望んでゐる

軍費の過重から吉林省財政窮乏
張學良氏に救濟要求

【吉林特電一日發】省政府委員某氏は黑龍江省では對露和平促進運動が鮮明した樣であるが吉林ではとの如何にとの問ひに對し吉林でも停戰して

講話せよ との論者も漸く出でたが既に國民政府も對露交渉を奉天側に委任したことは事實である故に目下學良、作相、蔡運升等の緊急會議中であるから適當な便法が講ぜられるであらう、然し露軍費一千萬元を既に費消したと傳へられてゐるが實際はそれ以上に達する、しかのみならず吉林省內に出動中の奉天軍の

糧食費は 全部吉林省が負擔してゐる、吉林軍のみでも一ヶ月百五十萬元を要する上に奉天軍は益々增派しつゝあるので毎月三百萬元を下らぬから今の儘で經過せば吉林省は財政的に破滅を免れぬであらう、ら故に作相氏は學良氏に對し軍費救濟方を要求してゐる

民政黨は各地で壓倒的勝利
各府縣議補選結果

【東京一日發電】來るべき總選擧を控へて其前哨戰として多大の興味を惹いた各地府縣會議員の補缺選擧は北海道網走、室蘭、鹿兒島、千葉の四ヶ所を殘し他の三十ケ所全部を終了したが、其結果は民政黨の壓倒的勝利に歸し從來の色分け政友一八、民政七、中立五名の所を一變し、民政は二十八名の當選者を出し政友一中立一と云ふ成績であつた

年內解散斷行說
民政黨總選擧に對し信念益々鞏固となる

【東京特電一日發】緊縮の宣傳が利き過ぎたり減俸案の脅威により都市における選擧民の現內閣に對する氣受けを氣遣はれたが、東京市における區會議員の選擧は民政黨の絕對多數當選を見るに至り先づ都市においても現內閣の信任は決して減退してゐないことが判明した、これを以て民政黨側は總選擧に對する信念益々鞏固となり總選擧の結果民政黨の勝利疑ひなしと同時に總選擧の時期は必らずしも來春を待つべきにあらず本年內に斷行すべし、即ち政友會が常任委員長の選擧に獨占的行爲を表明するときには利刄一振、解散を斷行すべく、施政方針の如き議會の形式のみで必要なく議會解散後聲明書を以て國民に告ぐれば可なりとし、政府部內にても政局の事情より見るも大體來春を待たず年內に解散すべしとの說行はれるに至つた

航空會社六分配當

【東京一日發電】日本航空輸送會社は三十日定時株主總會の結果配當年六分案を可決した

下旬貿易
七百萬圓出超

【東京一日發電】十一月下旬に於ける外國貿易は(單位千圓)

輸出	五四、一二三
輸入	四六、三八四
出超	七、七三九

で之を昨年同期に比すれば

輸出	一一、八三四
輸入	三〇、〇七四

を夫々減少したので結局本旬は昨年の同旬に於ける入超一千五十萬圓に對し七百七十三萬九千圓の出超を示し依然として出超を繼續しこの調子を以て進めば十二月下旬に於て必らずしも入超に轉換するや否やも豫想を許さゞる狀況である、而して一月以降の入超額を見るにその累計は六千二百八十六萬三千圓となつて昨年のそれに比し一億二千六百八十萬六千圓を減少し更に一昨年のそれに比し九千七百四十八萬六千圓の減少である

滿洲からの提案三案共可決
日本商議定期總會で

【東京特電一日發】日本商議定期總會へ提出せる滿洲關係の三案は何れも三十日の委員會に於て質問應答の結果之を可決し常議員會に於て其實行方法を講ずることになり一日の本會議に報告全部承認されたが其內奉天票暴落による對策として銀券行方建議の件は問題が問題だけに早急に其目的たる「滿洲の既設金融機關として現大洋引替ノートを發行せしめ之が流通を圖ること」を實現する譯にゆかず各方面の實情を充分硏究すべきものとして今後常議員會で調査することになつた、尙右商議總會で可決された議案の內姬路商議提案の「商務官擴張充實に關する建議」に對して滿洲委員より修正の提議あり異議なく、滿洲に商務官設置を追加建議することに決定した商議總會は一日を以て終了す

滿蒙政策に關し松田拓相に進言
庵谷奉天會頭より

【東京特電一日發】昨日拓相官邸に於ける拓務當局と庵谷奉天商議會頭等の會見內容に就いて當日の出席者は一切沈默を守つて居るが元來松田拓相は就任以來拓務省の機能發揮に就き深く考慮を拂ひつゝあり省內各局に命じ其關係方面の實狀調查、意見聽取等に努めてゐるが殊に滿蒙關係に就いては先般拓相として初めての滿鮮巡視を爲して以來その行政經濟其他の各種事情につき注意を拂つた點少からず中央に於て考へてゐたことゝ實際を觀たところと相違する點も多いので今回庵谷氏等の上京を好機として更に其實狀

疑問の點 等を質したもの如く之に對して庵谷氏等は在滿卅年餘の經驗並に滿蒙の近狀に鑑み忌憚のない意見を述べて當局の參考にした模樣であるが其內容は可成り具體的の問題もあるべくその結果松田拓相の抱負經綸を表はす具體案が今後如何なる形式順序によつて現はれるか注目に値しやう今後此種の會合、意見の交換は屢々行はれんと

小橋前文相は結局召喚か
證人程度の輕い取調

【東京一日發電】越後鐵道事件に關係ありとして拘引された小橋前文相はいづれ檢事局の取調を受くべきであるが、單に證人程度の輕い性質のものらしい、而して取調べにつき司法部內には地位ある人であり且つ參考人程度ならば若槻氏のやうに書面で處理をなすべしとの說と、情實を排し斷然檢事局へ召喚せよとの說とあり、司法部內の空氣より見れば結局召喚と決する模樣である

南下貨物を秦皇島に吸收
支那側で計畫を樹つ
滿鐵に打擊はない

露支係爭から東鐵線經由浦鹽向輸送杜絕のため北滿貨物は全部滿鐵線經由南下するの餘儀なきに至り從つてそれだけ滿鐵の輸送貨物激增となつたが、支那側は此北滿貨物大輸送による滿鐵の鐵道收入激增を羨望してか最近洮昂線を利用し四洮、打通兩線を經由秦皇島に五十萬噸輸送の計畫を樹て目下機關車、貨車及び其乘務員の準備中だといふが之に對し小日山理事は語る

支那側の秦皇島輸送計畫は自分も聞いてゐるが北滿貨物といつても齊々哈爾を中心としたもので從來同方面の貨物は東鐵としても極端な

割引率を 以て浦鹽向けに吸收してゐた關係から滿鐵に對しては何等の痛痒もない譯だが、浦鹽輸送が回復すれば自然浦鹽へ向けられるべきものである、滿鐵としては既に手一杯の輸送狀態であり又洮昂線が吸收せんとする地方の貨物は滿鐵として取扱つた事のないものであるから打擊を被らぬ、秦皇島の輸送貨物包容力は四十萬噸位だと思ふが一方開灤炭を積出してる關係もあるので果して

特產收容 を可能ならしめ得るかは疑問である、また現在の洮昂、四洮、打通諸線運行狀態及び貨車の配給が該輸送に充分の力を入れ得るかは甚だ疑問である、然し將來の貨物輸送は大連、浦鹽、秦皇島(葫蘆島)の三港に集散すべく其の協定も必要であらうが、打通線に對しては日本から抗議してる關係もあるので國家が認めてゐない鐵道との協定は困難な點もあらう兎に角現在支那側の秦皇島

吸收計畫 には勿論對策も必要かも知れぬが滿鐵としてはそう神經を尖らせず樂觀していゝことゝ思つてゐる

吉林官帖暴落
支那軍不利で

【吉林特電一日發】當地では東支西部線の支那軍隊が海拉爾以東に潰走したとの報傳はるや第一の影響は哈大洋及吉林官帖の慘落で金票對官帖相場は二百四十五吊から一擧二百五十六吊に下落したが市民には海拉爾の陷落は大した動搖の風は認められない然し軍部當局は廿九日來步兵第三四團全部千二百名に戰時武裝せしめて城內外を示威運動せしめてゐる

結核療養に滿洲は理想的だ
來連した滿鐵結核療養所長 遠藤繁清博士語る

明年創設される滿鐵結核療養所々長に任命された元東京市療養所副長醫博遠藤繁清氏は一日入港のうらる丸にて來連したが、氏は語る

今回は建設に就いて打合せに來たので場所の選定等は金井博士と相談の上決定するが、私は年內中に

一度歸京 して家族を引纏め來連永住の豫定である、大體滿洲に毎年日支人四千人の新患者が出來、平均七十人肺病の爲滿鐵を辭める程結核患者が多いのと、殊に日本人は內地の儘の生活樣式で而も寒さを極度に怖れ、窓に目張をしたりして通風の惡い室內に閉ぢ籠つてゐるせいだらうと思ふ、一體に結核患者にとつては暑熱及び濕氣が最も惡く東京等でも死亡率の最も高いのは夏だ、寒さは結核療養に付いては決して有害でなく特に滿洲の如く大氣乾燥した地は其點理想的である、現に紐育州のサナトリウムが市から十三時間汽車で離れたカナダ寄りの多くは

零下三十度 に迄降るサラナックレークにあり療養の理想地とされてゐる、日本では年々十二萬人の肺結核に依る死亡者あり米國の二十五年前に於ける死亡率を示してゐるが、是は畢竟サナトリウムの施設が未だ不備な爲で收容ベッド數が不足で何處のサナトリウムに入院し樣としても一年二年待たねばならぬ有樣だ、大連でも先づ煤煙から逃れた大氣清爽な地を選び最初百位のベッドを造り漸次擴張して行けば良いだらう

市政上の暗礁 【五】
大連市政は何處へ往く？

（紛糾に紛糾を重ねてゐる市會問題は問題が問題だけに感情が織込まれ、情實が加味されたりして、容易に正鵠をキヤツチすることが出來ぬいはば十人十色といふデリケートさを示してゐるが、次には最も公平なる渦中以外の意見を紹介することにする）

◇

大連の市政、こんな厄介なものはないね、自治だか喧嘩場だか區張り鬪が分らぬではないといふのも仕事といふ碌な仕事がないから、四の五のと喧嘩するより外はないのであらう。が併し、それでは市民こそ迷惑千萬、いい面の皮といはねばならぬ。さればといふて今日、當面の紛糾を餘所に根本的なる制度の改革も泥縄と申すことになり、何が何でも今日のところは紛亂した石本市長問題を解決して行かねばならぬ。若それが出來ぬやうであるとすると、自治體の汚點ともいふべき監督官廳の干渉といふことにならぬとも限らぬ。勿論今日までのところでは、監督官廳の當局も未だ手を出すほどにはなつて居らぬと認めてゐるらしいが、併し目に餘るやうな醜狀を暴露するにおいては、大連自治市政上の一大不祥事を招かぬともいへぬ。

×

そもそも石本市長のいはゆる口約問題に絡んで大連市政が今日の如く紛糾し、醜狀を暴露するに至つた所以のものは、既にその出發點において面白くないことがあつたのである。石本氏が老後の思ひ出として大連市長たらんとした大願望は諒とすべきであらうがそこに無理があつたのである。この無理押しが今日の紛糾を胚胎してゐたものであつて、今さら云々するも繰言に過ぎぬが、ともかく石本氏は自ら市長となり內海安吉氏を助役に据ゑんとして反對に遭遇するや助役案は撤回し自分だけが市長となることに全力を傾注し遂に市政の混亂を來したが中立議員と稱する蔦井、三田、立石三氏の協調により石本市長は十一月を期して離任すべきことを口約したのであつた。

◇

この石本市長の口約問題なるが紳士協約か非紳士協約かといふことに關して今次の紛糾を惹起するに至つたのであるがそもそもその紳士口約なるものが曖昧といへば曖昧なものである。紳士協約である以上は文書にも殘さず、覺書もコツピしなかつたのは當然、調停者やその他の議員の面前で石本式の放送をやつたことは確だ。しかもその石本式の放送たるや十一月になつたら屑よく辭任するとは斷言せず、市長有給案を出し、名譽職の自分としては當然に罷めることになるといふやうな曖昧といへば曖昧、すこぶる抽象的な有耶無耶の說明、それが取りも直さず紳士口約なのであるから、今日になつて辭任するなどとは申した覺なしといへば、それは確に右の通りであつたらうが、その當時の經緯や事情から察すれば眞逆に辭職するのだぞと念を押す譯にも行かなかつたものゝ如く、そこが紳士協約の紳士協約たる所以で、調停者は勿論、立會つた議員連中も十一月が來たら石本市長が紳士的に市長有給案を提出し自分は屑く任を去るものと領會してゐたものらしい。

◇

然るにその間に月日は流れる、政友會內閣は民政黨の內閣となる、石本市長としても紳士協約なるものを、何も眞面目に內容的に解釋するの必要もあるまい、もともと辭職するのだぞと表面的に聲明した譯でもなく、すなはち辭職といふことは一種の諒解といふのであるから、すくなくとも有給市長の後任問題でも決せぬ以上は、今さらの如く、あわてて辭職するにも當らぬは勿論、あわよくば、このまゝ座据つても苦からずとあつて紳士口約なるものは十一月も過ぎ十二月に入り遂に非紳士協約といふことにならざるを得なくなつた。そこで罷めろといふ、罷めぬといふ、市長有給案なる助け船を出すといへば、助け船を出す前に罷めねば承知せぬといふ。

◇

かくて神聖なるべき大連市政も私情や情實の鬪爭場と化し、個人の面子問題などで市民の幸福利益を犧牲にせらるゝことは市民としては迷惑千萬の限りである。市政は何處へ往く、石本市長は何とする。とにかく市政紛亂の責任を思へば石本市長たるもの決して晏如たり得ぬであらう、紛糾渦中以外に立つ某消息通は慨然として語つた。

市長と市議を論難
昨日市民大會の盛況

市政擁護の市民大會は一日午後一時より歌舞伎座に於て開かれた、折柄降雨のため出足を鈍らしたが時刻移るに從ひ聽衆續々詰かけ盛會であつた、先づ辻鑑太郎氏推されて座長となり

左記の如き 宣言と決議案を一同に諮りたるところ異議なく可決し、更に之が實行委員は座長に指名を一任した

▼宣言 吾人は市政を外にして徒に私黨鬪爭を事とする狂亂暴戾の市會を排擊し斷乎市政の神聖を擁護す

▼決議 吾人は現市會議員並に石本市長の辭職を求む、議員にして之を容れずんば市會の解散を期す

右終つて直に演說會に入り各辯士は左記演題の下に市政施中有給市長案問題を縱橫に解剖檢討して餘すところなく嵐の如き拍手を受けつゝ虹の如き氣焰を擧げた、諸演說の

要旨とする ところは市會議員の無反省と輿論無視による市政の亂脈は膏肓に入つてゐるから之が根本的廓清のために市長並に各市議は辭職すべしとする點にあつた

市政對下の價相 仙波久良
何時迄市民を愚弄するか 岡虎一
所感 木村莊十
滿鐵議員は市民の公敵なり 田中由次郎
自ら摘んで禍根を絕て 寶性確成
聖火を點ぜよ 森宣次郎

近頃トルコでは「ヴオイヴオ」といふ言葉が流行つて居るが當局は風教上面白からずとあつて巡査に對し若し「ヴオイヴオ」といふ言葉をいふ者があつたら即座に捕へて拘留せよといふ命令を發した▲所がこの言葉は非常な勢で流行して居りお巡りさんは取締りに汗タクタクの體でこんな言葉が發明されなければなあと溜息をついて居る▲といふのはこの言葉は口でいはれるのみならず新聞に書かれチヨコレートにまで刻み込まれるといふ流行振を示して居るから之を何う取締つたものかと思案投首の體だといふ▲處で此の言葉は何處から流行つて來たかといふと元は一人の呼賣商人から起つたものである、彼はスペイン系ユダヤ人でコンスタンチノープルの貧民窟に住み毎日鼠取りと小さい旗を以て往來を頓狂聲を立てゝ賣り步いて居た、少しのろまの處から自動車の運轉手やいたづら小僧が何時でも彼の姿を見ると「フエヴ」(スペイン語で雛轉じて馬鹿)とさけんで馬鹿にして居た、この「フエヴオ」が訛つて方言の「ヴオイヴオ」に變じたのである▲禁を犯した者は立所に手錠を箝められることになつたが菓子や酒などに用ひられるのは一寸取締りやうがないので漸くトルコの大問題たらんとして居る

暴風雨警戒

南の風强かるべし午後七時南滿洲附近を警戒す(一日夜若草山觀測所發表)

英大使上海へ

鮮滿旅行中の駐日英國公使チリー氏は奉天旅順等を視察してゐたが一日午前八時出帆の天長丸にて上海に向つた

本年度の入超額
大藏當局樂觀

【東京一日發電】十二月上旬の貿易より見れば十二月上旬は尙出超を續け中旬に入り入超に轉換十二月中の輸出入額はトンくか或は多少入超となると見られ、結局本年度入超額は六千五、六百萬圓位に食ひ止め得るだらうと大藏當局は樂觀說をなして居る

洋行するお人形
文部省が白國博へ出品する

ベルジューム獨立百年記念の萬國博覽會が明年四月から同國の首都ブラッセル市に於て開催されるは同省始め民間から種々の日本製品が出品されるが中にも文部省から出品する御自慢の日本人形は同省の依囑により神田の共立女子職業學校で學生が丹念に製作中の處この程立派に出來上つた、寫眞は其お人形【二人の女學生が案內をしてゐる等身大のもの】

佐分利公使の遺骸は解剖に附せらる
神奈川縣警察部と警視廳側と意見の相違から

【東京一日發電】佐分利公使の死を解決すべく遺骸を解剖することゝなり本日午後二時外務省官舍に安置されてゐる遺骸は、靈柩車に乘せられ小村侯、藤井外務省人事課長等附添ひ帝大法醫學室に送られ帝大宮永博士、外務省囑託板村博士執刀、本事件に神奈川縣警察部と警視廳側と意見の差あるので橫濱地方裁判所檢事正、西坂神奈川縣刑事課長、警視廳側から丸山警視總監、阿部刑事部長、江口搜査課長、加藤警部、吉川鑑識課長、高木警部、警視廳保安課ピストル專門家豐島技手、金澤檢事等立會ひの上解剖は施されいよ〳〵專門醫學的解決をされることゝなつた

自殺と決定

【東京一日發電】故佐分利公使の遺骸を本日午後二時より帝大にて解剖の結果自殺と決定した

葬儀は行はぬ

【東京一日發電】故佐分利公使の遺骸は本日解剖後更に外務省官舍に安置し、三日午後二時より三時迄親戚の告別を行ひ尚茶毘に附した上遺骨は駒込吉祥寺に葬られ、別に告別式とか葬儀などは行はないと

船出の第一夜に 強い風雨の見舞ひ
海相夫人の快活な社交ぶり
—船中の全權一行

【サイベリヤ丸卅日午後十時十分發無電】全權一行の第一夜は可なり強い風雨に見舞はれた、薔薇の花美しく飾られた食堂正面のテーブルは財部海相で氏の右に夫人左に幣原氏、その隣は若槻全權のテーブル、右に山川左に川崎、齋藤氏等坐り、若槻全權、元氣良く珍の日本酒で食事を始めたが、ストーブを絡るや船暈を感じ早々退却してキヤビンに引込んだ、一行中初めての航海に似氣なく動搖を物ともせず素晴しい快活振りで夫君との旅行を樂しみつゝデザートコースの最後まで機嫌良く談笑を續け快活な社交振りを示したのは流石に海相夫人のたしなみ振り床しく、食堂の各テーブルから夫人代表の尊稱を奉られた、夜と共に風雨益々加はり橫しぶき猛烈でデッキに出られず、午後十時勝浦沖を過ぐる頃一行の大部分は退却したサイベリヤ丸は夜の闇を衝いて東北へ全速力で進む

自重する若槻全權
第二日も天候險惡

【サイベリヤ丸一日午後三時十五分發無電】全權一行の第二日は既に經つた譯、航海だつた、午前十時三十分金華山沖東方百五十浬を過ぐる頃迄波高く風ありデッキは飛沫に濡れ僅に四五人が散歩するのみ、橫須賀から來る筈の飛行機も天候險惡の爲來らず黑潮に乘つた船は豫想以上に暖かい若槻全權は朝晝共に食堂に顏を見せず自重して船室に引籠つて居た午後キヤビンを訪へば結城紬の着流しで元氣よく應待して語る

昨夜は自制して飲まずに食堂に出たのが不覺だつた、失禮してはいかぬと思つて引込んだが今は此の通り元氣だ、船中は無理をせずに行く心算で斯く自重して居るが明日からは起きて運動する、會議に就いては胸中成算もあり是非成立さすべく最善の努力をする、國民の代表として行くのであるから其の意志を證して飽く迄我が主張の貫徹を期して居る云々

財部夫人も道に昨夜の大荒で元氣なく

船室に引籠つて居る、財部全權、山川、川崎兩顧問、安保顧問も大元氣で海上は暗雲低迷して見ゆるは唯逆卷く白浪のみだが、海軍の花形揃ひで船中は頗る賑やか午後六時北海道の東二百浬を東北に進む豫定

電通特派員

【東京一日發電】ロンドン海軍會議に派遣された日本電報通信社神子島特派員は若槻全權一行と共に三十日午後三時出帆のサイベリヤ丸にてアメリカ經由ロンドンに向つた

滿期兵二百餘名 懷しい母國へ
きのふ照國丸にて

旅順重砲兵隊及び駐屯軍二百四十名は在滿二個年の軍務を終へ滿期除隊となり陸軍運輸部本部鈴木中佐附添ひ一日午後四時照國丸にて離連神戶へ向つたが埠頭には三宅軍參謀長、外各軍務關係者、脇谷在鄉軍人聯合會長代理、寺田水上署長、各在鄉軍人及び駐屯軍の見送りあり三宅參謀長の挨拶、脇谷代理の送辭あつて吹きなぐる雨の中に大元氣にて戰友の軍歌に送られて出帆した

苦力專用電車
一日から運轉

大連電鐵の勞工專用車運轉に付てはかねて滿電會社から認可申請中であつたが此筋に於ても座席等級撤廢後の實績、一般輿論等を參酌し之を認可することゝなつたので愈々十二月一日より實行されたが右勞工車は朝夕のラッシュアワー時約二時間(差當り朝は九時頃迄夕は六時頃迄)寺兒溝—小崗子線、埠頭—日本橋—小崗子—水源地線、水源地—黑石礁線、常盤橋—沙河口線の各區間に運轉し乘車賃は四錢とし車體は外部を樺色に塗り「勞工專用車」と黑書し座席が板張になつてゐる

滿鐵大連道場軍 再び覇權を握る
柔道有段者團體試合

一日午前十時より大連滿鐵道場に於て行はれた全滿洲柔道有段者團體の優勝旗爭奪戰は午前に引續き旅順警察署と三州會、武德會が所A組と大連道場の試合を經つて愈々準決勝戰に入つたが結局左の如き戰績で最後の優勝の榮冠は遂に再び滿鐵大連道場の手に歸することゝなり伊佐講道館有段者會幹事より大連道場代表野崎選手にペナントを授與し二時半頃大會の幕を閉ぢたが閉會後同所に於て講道館有段者會總會を開き豫算、決算の承認並に明年度內地遠征の件等を附議した

△旅警(一點)—三州(〇點)
竹下 × 石津
澤田 ○野間口
○星 狼渡
森 × 阿藤
佐々木 × 平山
(決勝)

△大武A(零)—大道(二點)
○星 平山
齋藤 × 岡部
井上(弘) ○野崎
佐分利 × 宮崎
三間 × 今里
井上(晋) ○大野

△旅警(三點)—沙道(一點)　准決勝戰
○佐々木 中村
○星 西村
○澤田(石) 田中
竹下 大畑
森 木村

△大道(二點)—醫大(零)
今里 × 松澤
○野崎 川畑
大野 × 雨森
○宮崎 安武
岡部 × 菱沼

決勝戰
△旅警(一點)—大道(三點)
森 ○野崎
澤田 ○今里
竹下 ○岡部
○佐々木 宮崎
星 × 大野

簡易保險局 健康相談所
大連に設置

【東京一日發電】遞信省簡易保險局健康相談所は本年度に內地各所に增設さるゝに伴ひ植民地でも保險料收入に應じ大連に近く設置さるゝに決定、樺太、臺灣は未だ設置に至つてゐない

乳兒脚氣の早期診斷
荒川氏の發見

【仙臺一日發電】東北帝大醫學部教授會では三十日仙臺市北四番町開業醫荒井堪氏(三二)の提出論文「母乳のペルオキシターゼ調量法」に對し醫學博士授與を決定したが右は我國乳兒の死亡率の大部を占めてゐる乳兒脚氣を防ぐため母體の脚氣を早期に診斷する法を決定したもので少量の母乳を藥で反應試驗して二、三分で此反應を知る鋭敏な反應藥を發見したもので世界の醫學界に大きなセンセイションを捲起すものとされてゐる、氏は生粹の仙臺人で四十五の年から此研究に沒頭して發見した篤學の士である

馮庸軍大に勝つ
五十五對二十四にて
昨日YMCAとの籠球戰

一日午前南滿工專と接戰の末惜敗した馮庸大學籠球選手は同日午後七時より敷島町YMCAコートに於いて大連YMCAと戰を交へたが、YMCA軍に日頃の調子出でず一方馮庸軍は例の見事なロングスローと加ふるに主將咸の驚異的な活躍によつて後半大勢に差を大きくし五十五對二十四にて馮庸の勝利となつた、咸は自分に對するYMCA軍のマークの不充分であつた事にも幸ひされたが、後半の如き一人で二十二點の得點を稼ぎ主將の面目を充分に發揮してゐた閉戰同八時審判原田伊藤兩氏

馮庸 55 (34—8)(21—16) 24 YMCA

得點	(馮庸)		(YMCA)	得點
28	咸壯懷	F	山　本	10
2	董振文			
10	孚殿中		下　重	13
0	武維濤	C	西　本	0
7	李春風	G	大　山	1
8	馬玉華		井　上	0
52	(26)	FG	(9)	18
3		FT		6
	7	P	4	
55				24

列車內に強盜現はる
大洋四千二百元強奪
昨日南臺驛附近で

【鞍山特電一日發】一日午前五時南臺驛を列車が發車するや車內に一名の強盜現はれ拳銃をつきつけ王某夫婦より大洋四千二百元入りのトランクを強奪し列車から飛び下り逃走した、急報に接した警乘員は湯崗子驛に到着するや直に電話にて手配し目下犯人嚴探中、聞くところによれば被害者は三十日午後十時大連發にて長春に向ふものである賊は大連より尾行して來たものらしいと

北滿の避難民上海へ

露支交戰の結果支那側不利となり北滿地方の民心は極度に動搖してゐるが各地に續々避難する者多く一日三十餘名のハルビン在住の郵便局、銀行員等の支那避難民は大連經由午前十一時出帆の大連丸にて上海に向つた

昨夜奧町に二人組拳銃強盜
支那人宿屋を襲ふ
狂言かも知れぬ

支那人二人組のピストル強盜が一日午後六時半頃大連市奧町六九番地旅館業裕豐棧方を襲ひ、帳場に於てピストルを以て店員の頭部を毆り付けピストルを擬しつゝ現金二百餘圓を強奪した、急報により警察官が急行したが行方を失つたので直に高山署長自ら乘出し非常線を張つて嚴探中である、一方同棧は營業狀態面白からず營業主と金主が不和を生じ近く廢業せんとして居り、その他犯罪狀況に不審の點もあり芝居に非ずやとも思はれるので關係者を召喚し取調中である

中學武道大會成績

大連商業學校道場に於ける第三回男子中等學校聯合武道大會の午後は十二時三十分より引續いて行はれた、午後二時三十分試合を終つたが三本勝負は午前中に終り午後は高點試合で、主なる成績は次の如くである

▲劍道青年組　一等吉村(旅順一中)七本、二等酒井(大連二中)五本三等河野(旅順一中)五本
▲同幼年組　一等林(大連一中)九本、二等黑田(大連商業)六本
▲柔道青年組　一等加藤(大連一中)五本引分一、二等伊佐(大連一中)二本引分一、三等作花(大連二中)二本引分一
▲同幼年組・一等野村(大連二中)四本、二等橫田(大連二中)四本

洋品屋さん受難
暖氣と不景氣が祟り
賣行は例年より三割方少い

十一月も過ぎて愈々きのふより暮の十二月に入つたが本年は怎うしたものか何時迄も暖氣が續き貧乏人にとつては緊縮の折柄大助かりだが困つたのは市中の洋品屋さんで今迄襟卷、手袋等防寒具の賣行が非常に惡く例年に比して三割方賣行減少を示してゐる、又奧地方面でも同樣でかてゝ銀安の爲め支那人側の購買力減少し茲許多の滿洲洋品屋さん受難時代とある

立教軍優勝
關東ラグビー戰

【東京特電一日發】明大對立教の關東ラグビー爭覇決勝戰は三十日神宮競技場にて擧行、十對六にて立教遂に覇權を把握した

埠頭の年末警備

大連埠頭では年末を控へ構內警備を更に嚴重にする必要から十二月十日午後一時より埠頭事務所、福昌華工、水上警察署等の首腦者參集打合會議を開催の筈

巨匠大家の作に成る
新傾向の窯藝美
現代的の作品が多い
「今の九谷展覽會」を觀る

九谷燒同業組合主催の「今の九谷展覽會」が三越に開かれた、出品數三百六十點、作品の全部が現代作家の構圖、窯藝になるもので、美術工藝の

最高權威たる帝展及び商工展に入選した石野龍山、柄本曉舟、中野義雄、中村翠香、利岡光仙、松本佐吉、由良孤舟などの巨匠大家の作品が多い、出品の種類は花瓶、置物、香爐、香盒、鉢皿茶器、湯呑、珈琲具、鉢物、酒器等で華麗な物、清楚な物恰も百花繚亂の花園のごとく美しく展開されてゐる、九谷といへば金色を多分に配した俗趣味のものが多いやうに思はれてゐたが、この誤解を一掃するために金澤地方の

窯業家が精進苦心して清新な九谷燒を創出したといふだけに、現代人の嗜好に適する意匠、圖柄、配色の物が多い、包やかな鑑の色、原始的の土の香、透徹した白磁の冴え、新鮮味を帶びた窯業藝術の特色がその一つ一つに遺憾なく表はれてゐる、而して今回の企ては洗煉された鄉土藝術の新傾向を廣く宣傳といふ目的であるために一個廿八圓もする高級湯呑の類から、五個一組五十錢程度の盃の類に至るまで廣く網羅してゐる、尚同會は六日まで引續き開くさうである

巡査斬り犯人
けふ法院送り

庄野巡査傷害犯人張道隆(三二)は逮捕以來、旅順署吉田訊問係の手に依り嚴重取調中であつたが三十日訊問をおはり二日形式をして大連地方法院檢察局へ押送せしむる事と決定したが、張は山東居住中、支那武道を習ひ、庄野巡査追跡の際には鋭利なる刃物を翳して抵抗し、明らかに殺害の意思ありたる事を自供した爲め、告發罪名は殺人未遂及び窃盜罪となる模樣で張と同時に、張の窃盜の共犯となりたる山手町一張臣昌(二〇)及び贓物故買したる新市場町露店飯屋宋日俊(二六)も共に檢察局へ押送される筈

馮庸勝つ
二對零で
中華青年とのア式蹴球戰

遠く奉天から遠征して來た馮庸大學足球隊對大連中華青年會足球隊とのア式蹴球戰は一日午後三時五分より大連運動場に於いて細雨を冒し陳家駒氏の主審にて開始されたが、馮庸軍常に壓迫を續け前半三十分中華軍ゴール前十碼にて中華軍反則をなし馮軍のペナルチーキック入つて一點後半五分馮庸軍見事なFWのショートパスで中華ゴール前に迫り、CF蔡恩成のシュート極つて更に一點を加へ結局二對零にて馮庸の勝利となつた、閉戰同四時十五分

時計店開業

永年平田洋行に在勤中であつた杉山德翹氏は今回岩代町に杉山光陽堂を開店して時計貴金屬其他良品を安く提供すると

けふのラヂオ

昭和四年十二月二日(月曜日)
自午前十一時　市場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後〇時三十分　相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分　相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、露語講座　第二十六課　大連語學校　プロースマン
三、三曲　おもかげ(尺八)小笠原米山(三絃)森川とし子(箏)木次初榮
四、淸元　夕立(淨瑠璃)牧初太郎(三味線)淸元延園松
五、映畫物語　希望(解說)松葉詩朗(伴奏)帝國館管絃部
六、支那唱　昭君出塞(唱)閻香雲(師付)揚樹亭
七、料理献立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

満日地方版

奉天

重任を了へた満期除隊兵 歡呼聲裡に内地へ

在滿邦人の生命財産保護の重任を果した奉天獨立守備隊滿期兵第二三大隊百九十名は卅日午前九時發安奉線列車で懐しの故國に向け出發した驛頭には寺内守備隊司令官を始め村田駐箚隊長、太田地方事務所長、警署長、木下在郷軍人分會長、國粹會、青年團、赤十字、警察官、憲兵隊、駐箚隊、守備隊、協大、中學、致事、各小學校兒童各町内會その他各知名士多數の見送りあり近來にない盛況を呈した何れも名殘を惜むもの歸郷を急ぐもの等で出發前は悲喜交々であつた猶出發に際し見送り人一齊に萬歳を唱へ若人の前途を祝福した

その多くは金錢貸借關係による説諭、逃亡者探し等で就職を希望してゐるものも相當あると

十年間貞操を守つた女

朝鮮忠清南道旭町房住鮮女姜二禎(三七)は三十日奉天署にその夫なる金在斗の所在捜査願を送つて來たが姜は大正八年金と正式に結婚しその翌年金は突然家出したので只管その行方を捜査してゐた處風の便りで金は奉天に來り滿鐵圖書館にゐる事が判りその夫と添はしてくれとの願ひに奉天署でも出來るだけ力を添へることゝなつてゐる鮮女にして夫思ひに今日まで十年間貞操を守り來つたのは珍しいと

酌婦の玉代 五圓に値下

最近の花柳界は不況と緊縮風に煽られ火の消えた様な寂しさである、一方大連の玉代値下に刺戟され何等かの對策を講ずべく柳町三業組合では寄々協議を重ねてゐたが種々異論あり結局酌婦玉代五圓を付七圓と塞なしで五圓との二説に分れ目下研究中で遠からず五圓が時代に適應せるものとして有力になつてゐるため近く五圓に決定するらしいしかし藝妓の線香代は一本五十錢を四十錢に値下すべくこれは異論なき模様で前玉代決定次第線香代をも實現する筈である、尚十間房及鮮人酌婦もこれに應じ値下げするものと見られてゐる、因に現在奉天花柳界における玉代は全滿大連を除いた他と比し最も高いと

二日の大斷水

奉天地方事務所水道鐵管取換ポンプ改築のため二日午前零時から三時迄全市に亘る大斷水を行ふと

駈落藝者取押

大阪市難波新地で藝妓を稼いでゐた森田君子(二二)假名は昨年十二月末情夫福井昇(二五)假名と共に前借千五百圓を踏み倒して滿洲方面に駈落をなしたので搜査中であつたが兩人は他の女一名と共に來滿し商埠地に來り更に今夏來奉し八幡町某宅に潜伏中卅日漸く搜査し目下取調中である、しかし係官に對し兩人は死んでも別れぬとか奉天を去らぬと頑張つてゐるので係官も國元に照會すると共に自活の途を講じてゐる

人事相談で大繁忙 昨今の奉天署

年末を控へ當地には人事相談所といふものが別にないため滿洲は勿論朝鮮内地から奉天に來るものが逐日増加し昨今日如きは毎日十數件の多數に及び係官はテンテコ舞ひきその處理に努めてゐるが

町の便り

一日來奉する筈であつた日活映畫女優梅村蓉子は都合により十二月四、五日兩日來奉する事に變更された

◇特務機關は豫て温泉倶樂部前に新築中であつたがこの程完成したので十二月四、五日兩日移轉すると

◇スケート界の活躍期に入つてゐるが本年は季節外れの暖かさにリンクを應用する事も出來ず僅か溜池のみを利用してゐる用具の價は昨年と大差なく大體左の通りである大人用スケート靴七圓位から十二、三圓子供三四圓位から十圓内外、スケート金具大人練習用が四圓五十錢位からあり常用七圓五十錢から十二、三圓迄

◇渡米の途次渡滿する吾等のテナー藤原義江氏は來る四、五の兩日大連で告別獨唱會を開くが奉天では七日夜春日小學校講堂において獨唱會を開催することになつた會費は二圓軍人學生八十錢であると

◇卅日朝撫順古城子河附近で三名連の電線泥棒を巡察の守備兵が發見し直に逮捕し目下取調中であると

人事

▲寺内守備隊司令官 廿九日來奉三十日撫順へ
▲加藤啣堂博士 二十九日安東へ
▲松田朝鮮參謀 同日歸任
▲清水本溪湖署長 同日歸任
▲大岩地方係長 卅日午後三時半發急行にて大連に出張三日歸連の筈
▲萬國工業會議出席スチーブン氏 卅日安奉線急行にて來奉ヤマトホテル
▲ダータト氏(太平洋會議印度代表) 同上
▲顧麟午氏(吉長鐵路局長) 廿九日來奉
▲周四洸鐵路局長 廿九日來奉
▲傅增湘氏(前支那教育總長) 家族同伴卅日日本内地より來奉

鐵嶺

巡警射撃匪賊 遂に罪狀を自白す

二十九日未明新臺子郊外に於て巡警二名に重傷を負はせて逃走した匪賊事件は其後何時附屬地内に潜入するやも知れずと宇野警部補は近藤部長以下同地派出所員を督して嚴重警戒中同日午後二時二十分ごろ犯人の一人が新臺子吉野町二丁目奥村政雄方に潜伏せるを被害者たる白沙坨子巡警長(二八)が日本官憲に急訴せるより宇野警部補以下周到なる用意の下に同家へ踏み込み裏屋の混突で横になつてゐたのを難なく逮捕し派出所に引揚げ取調べたるも頑強にして實を吐かず身柄を一先づ同地出張中の鐵嶺公安局長劉成文氏に渡し更に物的證據を擧ぐべく活動の結果同日午前六時吉野町二丁目金銀細工業鮮人張某方に於て腕輪及メッキ銀形其他細工品を賣却したる者あるを探知し同家に就いて取調べ證據品として銀形一ケを押收鐵嶺城内劉長春及店主張某を呼出し實見せしめたるところ本人に相違なく銀形も被害品たる事確實に動かすべからざる證據品を突きつけられ包むに由なく自白したが身柄及證據品は即日二十七列車で鐵嶺に護送支那側に引渡し取調べ終了後一件書類を日本側に廻送する筈であるが劉公安局長は着任早々此事件で日本側の獻身により犯人の逮捕を見たので親しく本署を訪れ深甚の謝意を表した逮捕された犯人は鐵嶺縣採家窩棚劉萬保(二七)といふ百姓であつた

憲兵隊の異動

鐵嶺憲兵分隊日高軍曹の除隊に伴ひ小異動が行はれ後任には目下東京に修學中の郷孝上等兵が伍長に昇任補缺となり來年六月卒業後兵後任にそれまでは缺員とし上等兵後任には公主嶺より氷谷勉上等兵が任命され又開原分遣隊では石本伍長除隊につき後任として長春より池田福雄伍長が任命された

軍人會長後任

赤堀前分會長死亡後缺員の儘となつてゐた鐵嶺在郷軍人分會長は二十八日評議員會の結果滿場一致河村常太郎氏を推し就任決定した

初年兵 けふ午前來着

新設守備隊第一回の初年兵は二日午前十時二十五分着列車にて來鐵するが鐵嶺には始めての人を迎へる事であり長途の勞を犒ふべく各戸では國旗を掲揚歡迎の意を表す

撫順

一擧に十六名の石炭泥棒を逮捕 三十日撫順古城子で

撫順炭礦の石炭泥棒は爾來益々猖獗を極めつゝあるが二十九日に右犯人十五名を逮捕したる翌三十日午前六時頃又も古城子露天掘に追へどもつきぬ蠅の如き集團的炭泥現はれたとの急報に接した撫順署では署員急行逃げ場を失へる左記十六名を逮捕したが留置場は滿員で入れる事を出來ずその處分に窮してゐた

△主犯 河北省河間府現支那町鑵…(二四)△滋賀省生れ同王恩德(三八)△同吳德閣(三九)△河北省千金寨支那町劉學文(三〇)△遼寧省鐵道南石油峰(三八)△山東省瑞鐵道南姚鑑修(四六)△同劍乃純(一七)△千金寨孫張氏(三〇)同人長女小雲(一一)以下略

三十日の獻金

三十日午前左記の獻金があつた △金六十一圓七十五錢古城子會員一同△金十五圓北臺町某氏△金十圓春日町某氏何れも匿名△金五圓永安小學校尋四並木正人

開原

邦人宅へ二人強盜 二名を傷つく

二十九日午後七時四十五分頃開原附屬地昌圖大街四原籍大分縣大分郡桃園村二二八竹内新(三七)方に二名の強盜が表入口の開門を迫つたが同家炊事夫原籍昌圖城内馬雲成(三七)が何心なく開門したるに賊は直ちに拳銃を突き付けたれば驚いて同人は戸外に飛び出したのを賊の一名が之を追跡して射殺せんとしたるが同人の左上膊部に貫通銃創を負はせたのみにて同人は逃走して驛に到り驛取締巡査に此旨を届出た一方同家苦力原籍昌圖城内丁芳廷(二四)は何事ならんと戸外に出でたるに出合頭に一名の賊が同人に發射し右肩に貫通銃創を負はせた丁は其儘居室に戻りたるが賊が戸外に逃走せるは屆出せるものならんと察知せる賊兩名は一物をも奪ひ得ず横丁より裏道へ逃走したと届けにより警察にては直ちに現場に臨檢し嚴重搜査中同家にては竹内が從來病身なると妻が最近健康を害し意の如くならざる爲め商賣を片付け三十日には大連より娘さんが迎へに來たとか邦人に被害のなかつた事は幸ひであつた

五日から野犬狩

開原附屬地では來る五日より十五日まで十一日間に亘つて野犬驅除を行ふ由愛犬家は犬牌又は飼主の名札を附すやうにされたいと

除隊兵出發

開原守備隊滿期兵五十名は三十日

除隊同午前九時二十八分發の列車にて奈良隊長以下職友諸士在郷軍人分會員小學校生徒並びに官民有志の盛んな見送りを受け川崎新長の送別の辭あり留守部隊長の謝辭あり折柄着驛せる列車に乗り込み三田軍人分會長の發聲にて萬歳歡呼の裡に出發離開した因に鈴木上等兵は除隊に際し伍長に任官したと

ス事となつてゐるが青年團在郷軍人分會婦人會其他各團體は勿論市民多數も親しく驛頭に出迎へて頂きたいと

特別議員後任

大關貨物主任の轉出で缺員となつてゐた鐵嶺商工會議所特別議員は二十九日議員會協議の結果後任貨物主任小平一氏を推すに決定した

編物講習會

創案者尼子松代女史を講師とする尼子式編物講習會は一般家庭婦人方より非常に期待されてゐたが愈々今二日より五日間家庭職業研究所に於て開催される由會費五日間で五十錢家庭品のみでなく職業としても確實なる收入を得る程度に至る編物講習であるから多數婦人方の出席を勸誘すると申込は別に要せず本日午前十時までに研究所へ出席されたしと

大石橋

除隊兵 勇ましく出發

滿期報滿二ヶ年間酷暑嚴寒と戰ひ鐵道守備に在留邦人の生命財産保護に其大任を全うし十一月三十日滿期除隊となつた三十五名は同日午前四時二十五分北行第十七列車六十六名は同六時四十五分南行第二十列車で内地に向け出發されたがホームには軍隊、官衙小學校滿鐵の各部居住民擧げて見送り河内地方事務所長より犒勞と希望の送別辭あり萬歳歡呼裡に出發した

献金申出で

村山シズノさんは金十圓を國債償還基金にとて警察署に獻金差出された美はしき赤誠の現れである

加藤氏講演會

加藤啣堂氏は五日午前八時驛教室に於て現業員諸士の爲めに講演さるゝ事に決せるが時節柄の如く公會堂に於て開催不能となりたるにより希望者の隨意聽取を歡迎すると

排日ビラ 配布犯人

支那町商埠李芳潤(二三)は此間日本軍隊に對しての排日行動及重大なる陰謀宣傳ビラを配布せる嫌疑の下に警察署に檢束されたが取調の結果本人には斯る重大性なく單に或る者に教唆されたる事判明し村長等數名の保證により保釋された

木局へ強盜

去月二十九日午後六時半頃附屬地石橋大街一三三同和順木局王鳳閣方の炊事夫が外出先より歸るを待ち居り同時に侵入するや矢庭にモーゼル拳銃を突き付け脅迫の上金票現大洋票取り混ぜ金換算百三十七圓餘を强奪し姿を晦ませる報に接せる當署員は早速現場に向へるも賊の逃走後にて引返せるが過般の蘆家屯の一味らしと

敗退將棋 (其四) 日本將棋名家

【志澤氏一勝一敗二回目】

香平交左香落 四段 △鈴木顯一
三段 ▲志澤春吉

持駒 志澤氏 ナシ

【圖は前號指了迄の局面】

持駒 鈴木氏 ナシ

【盤面以下指方】△五八飛 ▲四五歩 △同歩 ▲同銀 △四六歩 ▲三四銀 △七七角 ▲三三角 △六五歩 ▲三三角成 ▲同桂 △五五歩 ▲六六歩

【對局者の感想】鈴木四段曰く手詰りの意味が出來て弱りました。殊に四五歩と交換せられると六五歩の順が出來るので五八飛と廻つて模様を見た。志澤三段曰く三三角の處で二四歩と突いて置く手もあつたが結果が讀切れないので譜の如き確實に指した。

【大崎八段講評】下手五八飛廻りは模様を見て角の交換を計り强く戰ふ意味なるも七五歩と指す方手損を免れて確かなり。次に六五歩は過激の如く見ゆるも自玉の防備確實なるに利して强く戰はんとする手段にしてよろし。

熊岳城

果樹組合の慰勞試食

滿洲林檎の元祖として品質に於ても生産に於ても滿洲に冠たりと稱せらるゝ今日を築き上げた相當古い歷史を持つ熊岳城果樹組合では三十日午後三時より例年の如く各驛關係者地方官民四十餘名を溫泉ホテル大廣間に招待し本年度優良果の陳列をなし試食會及び組合員の慰勞會を催した、定刻岡島氏先づ組合員を代表し一場の挨拶を述ぶれば渡邊農事試驗場長來賓を代表して謝辭を述べ見事に熟した各種果實につき説明を開きつゝ一同舌鼓を打つて賞美した、因に同組合の本年度生産高は昨年に大差なく價格の點に於ては一時北滿戰亂の關係及び朝鮮林檎の進出に依り下向きの傾向ありしも其後品質に於て大衆に認められ最後迄の總賣上高に於ては例年に比し大差なく豫想以上の成績を收め得た由、主なる出品種類は紅玉、國光、大國光、紅國光、倭錦、千倭錦、鶴の卵、鳳凰卵、玉霞、寶玉、ワインサップ、ウインターバナナ、柳玉、青龍、緋の衣、日の丸、大珊瑚、印度、鶏冠(以上苹果)白梨、紅梨、菜陽梨(以上梨)でいづれも甘露したゝらんばかりの美果であつた、尚組合員外の參考品も多數あり非常の盛會裡に一同充分のメートルをあげて散會した

本溪湖

煤鐵公司の電燈料値下

煤鐵公司の電燈料値下げは十二月一日より實施することになりたるが現下不況深刻の時に當り時宜に適したる處置であると市民は非常に歡んで居る是れに依る煤鐵公司の減收は年額數千圓であると云ふ

歸還兵出發

守備隊滿期兵小林軍曹以下四十六名は十一月三十日任務を終へ除隊歸還すること〻なり午前十一時發列車にて出發せしが全市民の熱誠溢るゝ見送りにてホームは埋められた

鞍山

教化總動員し 映畫會と講演會 愈よ來る十日開催

教化總動員に關する協議會は既報の通り三十日午後一時より警察署樓上に於て開催された、列席者は林公私經濟緊縮委員會安部長、植田青年團長、梅根修養團支部長、矢澤中學校長、日向小學校長、久留島在郷軍人分會長、淺美青年聯盟支部長、梶野職員、伊川西本願寺、馬場日蓮宗、上野金光教各主任等にて松木署長より動員の内容に就て大體の説明あり、動員の目的を達成する爲めに各團體を一丸とした教化聯合會を組織する事を協定し、各團體獨自の立場からも適切なる方法に依つて運動を起すこと〻なつた、しかして總動員を起す前提として來る十日鞍山演藝館に於て映畫會及び講演會を開催して一般に公開する事に決定した、尚教化聯合會には會長及常務委員を置いて動員に關する凡ての事務を處理すべく會長には林地方事務所長か松木警察署長を推挙する筈である

除隊兵出發

滿期除隊兵は三十日午前六時十分發列車で歸國の途に就たが驛頭には林地方事務所長、加藤實業協會長、植田青年團長、井上郵便局長、増田、山崎、三重野各地方委員、長井、堀兩區長、久留島在郷軍人分會長、石橋事務課長、伊藤地方係長其他多數の見送りがあり盛況であつた

緊縮委員會役員會

公私經濟緊縮委員會鞍山支部では三日午後一時より地方事務所に於て役員會を開き教化動員に關する件に就て協議する由

松木署長招宴

松木警察署長は二日午後五時半から林地方事務所長、太田驛長、井上郵便局長、各新聞支局長を鞍鐵に招待し懇談會を催すと

自動車荷車と衝突

三十日午後四時半正隆銀行支店前の交叉點に於て鞍山タクシーの自動車と不動産會社の荷車と衝突したが荷車の一部分を破損したのみで幸ひ人畜には支障なかつた

遼陽

滿鐵社員の獻金額 本俸の百分五

滿鐵社員會遼陽支部聯合會では評議員會で申合せの結果各自本俸の百分の五に相當する金額を國庫へ獻金すべく取纏め中であるが鞍山大石橋等との振合もあり且つ獻金と云ふ趣旨からして一率に百分の五と限定する事に付て多少異存の向もある模様で結局百分の五の範圍内に於て任意に獻金すると云ふ事に落着するならん、因みに機關區員一同は石炭消費節約や百萬キロ無事故獎賞等で本社から交附された金額の内から金一千圓也を醵出し遼陽工場の從業員は[illegible]で金五十圓也を獻じた

愛慾の窓 (175)

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

犠牲(五)

倭文子は眼を伏せた。卓子の上で靜く執られてゐた手を引いて、彼女はその上に涙を落した。

「……お前がそれを承知してくれるならば、僕は今直ぐにも杉崎を呼へ走らせて、親父の遺書をこゝへ持つて來させてもいゝ。お前の決心一つで、僕も救はれるんだ」

——そしてあの草野さんも!、と倭文子は心の底で叫んだ。

「……あなたのお心持はよくわかりましたわ!、お父さまがお亡くなりになつた時、あなたはさうなさるべきだつたんですわ!」

倭文子は靜かに云つた。

「……では、今日ではもう遲いと云ふのかい?」

英輔は總深的な眸で倭文子の顔を見た。

「いゝえ!、決して遲くはありませんわ!、お聞き下さいまし、わたしも今こそ誤解を解いて頂かなければなりません」

と倭文子はハツキリ云つて顔を擧げた。

「……わたしは草野さんと何の關係も御座いません!、誤解の因になつた寫眞、あれは全然わたしの身に覺えのないことなのです!、あの寫眞はわたしでは御座いません!、わたしはあなたを知る以前には、兄と一緒に上京の途中、草野さんとは箱根でふと出會つたことがあつたきりなんです。それつきりです、何うしてあの方と戀愛關係なぞが御座いませうか?、これはハツキリ信じて頂きたいと存じますわ!、わたしはたゞ草野さんが身に覺えのない罪のために苦んでゐらつしやるのをお氣の毒に思つてゐるきりなんです……」

だが、果してそれつきりであらうか?自分の氣持の底には、草野久彦に對する思慕の憧れめいた感情が、果して少しも潜んではゐないであらうか……?

倭文子は口を噤んだ。そして胸の奥深いところからひそかに嘆息を洩らした。

——あゝ、でもわたしは小森英輔の妻なんだわ……

「……いつか、わたしは誓ひましたわね、亡くなつたお父さまが自首して下さつて、草野さんが青天白日の身になられたとしたら、わたしは草野さんとは永久にお目にかゝらず、あなたと二人で仲好く暮してゆく、さう誓ひましたわね……その誓ひを、わたしは新たに誓ひなほしてもよござんすわ!あなたが證據の遺書を出して下さるなら」

「あゝ、倭文子!、それはお前の心からの言葉なんだね?」

英輔は嬉しげに顔をはづませて

「……お前がさういふ氣持なら、僕も遺書を渡すどころか、場合によつたらすゝんで草野君の嫌疑を解くために働いてもいゝ!、僕はお前を信じる!、だからお前も僕を信じてくれ!、僕は寂しいんだ……」

醜に充血してゐる英輔の眼からは、熱い涙がこぼれた。衝き上げて來た感動に堪え切れないで、彼は總手で顔を蔽うと、卓子の面に突伏してしまつた。久彦との關係を否定した倭文子の言葉を彼はこの場合そのまゝ信じたわけではなかつたが、むしろそれはもう何うでもいゝことだつた。彼は倭文子が新たにしてくれた誓ひを生かすためには久彦を救ふべく骨を折つてもいゝと思つたのだ。

「……倭文子!、今までの僕といふ人間を輕蔑してくれ!、僕は卑しむべき人間だつた!、恥かしい人間だつた!、だが、これからあらゆるものを棄て、一個の貧しい小森英輔となる僕を、お前はすなほなる氣持で受入れてくれ!」

英輔は、涙とともにさういふと倭文子の手を握り占めた。いつか倭文子も涙含んでゐた。この人は悔いてゐる、改めようとしてゐる!許して、すなほな女の愛情のうちに、この人の汚れた魂を溶かして上げよう!、さうして新しい生活へ出で立たう!

涙の一杯になつた美しい眸で倭文子もまた英輔の顔をぢつと見返した。

「……あゝ、僕は嬉しい!、これですべて僕の生活も感情も清算されようといふものだ!」

英輔は、靜かに倭文子の肩を抱いて、接吻を與へようとした。するとその時扉を叩く音と一緒に、秘書杉崎の息をはづませた聲が聞えて來た。

新刊紹介

▲物語支那史系(第八卷) 本書には南北朝演義明後篇及び隋唐帝紀史を收む(豫約品、東京府豊多摩郡戸塚町上戸塚五八、早稻田大學出版部發行)

▲猫眼石(世界探偵小説全集第十七卷) フリイマンの著作で面白い事限りなし(豫約定價金五十錢、東京市麹町區下六番町平凡社發行)

▲トルストイ全集(第四卷) 有名な翁の傑作「戰爭と平和第一卷」である「戰爭と平和」が世界文學中において量、質ともに最高の位置に置かるべきものゝ一であるのは云ふまでもないが米川正夫氏の譯文亦流麗で原文の眞價は本書によつて遺憾なく味ふ事が出來やう(豫約品東京市神田區一ツ橋通三番地岩波書店發行)

▲近世實錄全集(第九卷) 越後騒動、村井長庵、鈴木主水の三編を集錄、何れも芝居に講談に人口に膾炙してゐる物語り、興味津々(豫約價金一圓、東京牛込區早稻田大學出版部發行)

▲櫻(十二月號) 巻を追ふて内容充實して來た、他の雜誌と異つて柔い記事が多いから各方面に歡迎されてゐる定價金五十錢大連市磐城町十七番地月刊櫻社發行

滿日俳壇 募集規定

次回課題「年忘」「湯豆腐」「新年雜詠」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙へ締切十二月十五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲送り先、東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛

夕刊
滿洲日報
十二月一日
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

宵闇の東京灣頭で 一行の平安を祈る
驅逐隊や潜水艦の見送り裡に
全權の船晴の船路へ

【サイベリヤ丸一日發無電】横濱港外で停船旅券調の時若槻全權もサロンで旅券を出しニコ〳〵して居た、そして船中最初のチーに出た、午後四時半漸く旅券調べが濟み船は動き出す、雨に暮れた本牧沖から第三驅逐隊四隻太刀風を先頭にサイベリア丸の後から現はれ劉喨たる音樂を奏して歡送するのが波を傳ふて來る、若槻全權は背廣に鳥打、財部海相はモーニング姿で右甲板に立ち闇を衝いて進む太刀風の登舷禮に脱帽して敬意を表し、隨行が懷中電燈を利用して御好意を謝すと發火信號を送ると太刀風は直に萬歲を三唱し螢の光を吹奏する、其時兩者の距離百メートル餘、音樂は闇の波の上を傳つて手に取る如く聞える、横須賀沖で潜水艦八隻歡迎し六時まで全權の一路平安成功を祈つて送る、財部夫人初めての航海で物珍しく、若槻、財部兩全權と共に見送りの軍艦に答禮し別れを惜む、財部海相閣中を指し懇ろに說明し夫婦仲いと睦まじ若槻全權船暈の氣味にてデッキ運動をなす

けさ飛行機で新聞投下

【東京一日發電】海軍側では全權出發當日の國民的熱狂を太平洋上の全權に知らせるため當日の模樣を滿載してゐる東京市內の新聞三十日夕刊と一日朝刊を一日午前六時までに横須賀に取纏め直に之を飛行機に積み込み全權の乘船を追ひ太平洋沖合でサイベリヤ丸の甲板上に投下した

兩國軍隊を撤退し 鐵道復舊を協定
露支豫備交涉の方針

【ハルビン特電一日發】露支豫備交涉は基本條項の三箇條に基き開始されるが東支問題はその重點で管理局長の權限範圍は正式會議に待ち監禁ロシヤ人の即時釋放は會議決定の後となり第一の問題は兩國の軍隊を撤退しポグラ、滿洲里の即時開通聯絡が議せらるゝであらう正式會議はハルビンが有力である

呼倫貝爾の副都統逃亡

【ハルビン特電三十日發】呼倫貝爾政府は破壞され貴福副都統は逃亡し無警察狀態である、海拉爾は自警團により護られてゐる

東鐵前局長の任期

【ハルビン特電一日發】エムシャーノフ前管理局長の任期は來年の四月までゞあるから露支交涉が成立し氏が着任して來れば各幹部は其任期まで更迭しないであらうと見られてゐる

馮軍潰走 函谷關方面に

【北平三十日發電】洛陽來電に依れば徐源泉及び王均軍は二十九日午後觀音堂附近に於て西北軍と數時間交戰之を擊破し更に西進、馮軍は函谷關方面に潰走したと

佛國旗撤去 コブレンツで

【コブレンツ三十日發電】當市では本日午前十一時十五分を期してフランス國旗を引下した、這はラインランド第二區のフランス軍駐屯が正式に終了したことを示すもの

第三國の干涉を期待する支那側
豫備交涉强硬方針か

【ハルビン特電一日發】ハバロフスクにおいて豫備會議を開始するは支那の屈辱であると言ふは疑問である、それは最後の實質的技術外交にロシヤが飽くまで强硬論を主張すれば支那は交涉が決裂し不調に終るとも東鐵から軍隊を撤退し長春以南の線に集結し對峙すれば當然第三國の勸告が現はれると信じてゐるからである、故にロシヤは表面强硬を主張しても結局實質には讓歩せねば交涉は成立しないであらう

日曜閑話
日滿社交俱樂部
是非東京に設けたい

ツイ先ごろのこと、折柄在京中の滿蒙關係者が市外五反田のヲチヱウム溫泉松仙閣に集合、いと打くつろいだ一夕の懇親會を催したことがあつた、集るもの梅野前理事、杉野前市長、武村前沙河口工場長、藤田昌光硝子專務、門田新松氏、村井大連商議會頭、原田五品理事長その他數氏であつた。

×　×

その席上、偶と話題にとつたのは「お互に忙しい用務を帶びて上京したり、また在京者と云つても可成り遠い郊外に住んで居る者もあつたりするので一々訪問するとなると却々大變だ、こんな場合何か俱樂部のやうなものでもあつたら至極便利でもあるし、また用務を片づける上から云つても甚だ便利だらうがね」と云ふ問題であつた。

×　×

成程然う云へば朝鮮關係者の間には「朝鮮中央協會」あり臺灣關係者の團體には「臺灣協會」ありその他對外關係者の團體には「日露協會」あり「日米協會」あり、その他「日墨協會」もあれば「ベルギー協會」もあると云ふ具合に種々の目的、種々の組織の特殊團體があり、その關係土地を代表する宣傳機關若しくは親交機關となり、又は單純な社交俱樂部の作用をなして居るものが數多いにも拘らず、滿蒙關係者の團體若くは會合機關としては未だ餘り有力なものはないやうである。

×　×

これを先輩の言に聽く「滿蒙協會設立の議は從來も屢々滿蒙關係者の間に問題になつたことで、曾て其具體計畫が大分進捗したこともないではないが何う云ふものかそれが纏まるまでに至らず、何時も有耶無耶に終るのが常であり、今日まで遂に權威あるものが出現するに至らなかつた」と。

×　×

わが帝國の前途に重大な關係を有つ滿蒙經營と云ふ大きな背景を控へ、實質的機關としては關東廳や滿鐵の如き有力官廳、有力會社を有する滿蒙關係者の間に、今日まで何うして此種の權威ある團體が生まれるに至らなかつたか、殊に在京名士の中には曾て滿鐵、關東廳、軍部等の主腦者たり、現に中央に於て時めく人達が雲の如うに控え居るに拘らず是等の人々を網羅する團體や會合機關が何うして是れまで實現しないのか、全く以つて不思議な事實、寡聞の記者はその理由を諒解するに苦む次第だ。

×　×

言ふまでもなく「滿蒙協會」若くは「滿蒙中央協會」設立の議が眞面目に熟して來るとすれば費用の出所などは問題でない筈だ、またこれに贊成する人々も非常に多く、而も我國內の有力者、權威者を網羅することも決して難事ではあるまい。（東京支社一記者）

視察團輸送打合
來る六日から京城で

【京城特電一日發】第五回鮮滿視察團體輸送並に案內事務打合會議は來る十二月六、七兩日龍山鐵道局會議室に於て開催の豫定で、目下同局旅客係の手で之が準備を進めてゐるが、同會議は滿鐵、大阪商船、內地各地の滿鮮案內所、運輸事務所及び朝鮮總督府等より代表者二十七名出席の上、持寄り議案につき協議を遂げ司會者は鐵道局戶田理事が當る筈である、因に出席者は左記二十七氏である

△滿鐵 石原秋朗（情報課）彥阪武雄（營業課）海上定吉（大連鐵道事務所）川西泰一郎（東京支社）富田榮（東京鮮滿案內所）土森信之助（大阪同案內所）金子德（下關同案內所）
△大阪商船 石垣廉（仁川支店長）佐伯宗天（門司支店旅客主任）
▲本府 高宮健二（文書課）大沼喜久衞（同）加納博（商工課）摺津勘四郞（學務課）
▲朝鮮旅館協會長新田新兵衞
▲鐵道局 佐藤作郞（營業課）外五名
▲京城運輸事務所 大門求馬外大田、釜山、平壤、淸津より各一名宛

提出議題

一、不良旅館制裁に關する件
一、朝鮮主要地遊覽順序及車馬賃銀調表の件外八件（東京案內所）
一、關辨包紙並にナプキンには其地を中心とする地歷關係及名物を簡略に印刷せられたき件外十三件（大阪案內所）
一、活動寫眞宣傳蓄音機併用の件外五件（下關案內所）
一、團體名電略制定外五件（滿鐵）
一、學生團體に對する一泊二食附料金制定されたき件外十件（同哈爾賓事務所）
一、鮮滿視察團各季出動を勸誘の件外三件（大阪商船）
一、團體宿泊料金に關する件
一、日程作成上の注意の件外五件（鐵道局）

東鐵問題の各國の意見照會
米國國務長官より

【ワシントン二十九日發電】アメリカ國務長官スチムソン氏は過日、英、獨等に在るアメリカ大使に東鐵に關する露支問題に對する各國の意見を確むるやう訓令を發したが、同國務長官は目下右諸國より何等か意見の開陳あることを待望してゐる、なほスチムソン氏自身としては此際採るべき行動について何等の提案をも用意して居ないと解されてゐる

鐵道省米法實施

【東京一日發電】メートル法は昭和五年四月一日を期し旅客貨物一齊に之を採用することに決定したのである

今後の政策遂行上 議會の解散を斷行
與黨の選擧第一主義

【東京一日發電】政府並に與黨に於ては疾風迅雷的に文相の補充に依つて內閣の陣容を立直し續いて若槻、財部兩全權一行も豫定通り鹿島立ちして茲に政局も一段落を告げた上は面目を一新して議會に臨み解散を斷行することが今後に於ける政策遂行上先決問題であるとして愈々選擧第一主義を以て邁進することに決定した

議會解散は何時でも可能だ
但し時期は今明言出來ぬ
濱口首相の車中談

【東京一日發電】濱口首相は卅日午後四時五十五分新橋驛發列車にて鎌倉の別莊に赴いたが車中語る

最近議會解散回避說が盛んに唱へられてゐると云ふが予は之について何等の意見を持たない

議會解散 の時期については云爲する譯に行かぬ、解散が本年內になるか休會明けにするか、そんなことはまだ一向考へて居ない、然し反對黨が議會に於て政策、豫算其他について正面から反對して來ないでも政府黨が少數であるとの理由を以て解散を斷行することは出來る、さて今度議會が召集され部屬の區分が決定すれば

開院式前 に於ても無論可能であるがそれをするかせんか今斷言出來ない、今回の小橋文相の更迭問題が總選擧に如何なる影響を及ぼすかについては小橋君の受けた疑惑は立派に一掃されるとゝ予は確信する、果して然らば總選擧に對しても何等の惡影響を與ふるものではない

佐分利の急死は實に氣の毒だ、在京中一度も面會しなかつたが怎うしたのだらう

と一日の本紙朝刊を讀んで不審の態であつた、尙內閣の事に話及ぶや

小橋文相の態度は實に男らしい見上げたものだ、全くつまらぬ係り合ひで氏にはお氣の毒な事だ、內閣は田中氏を後任に入れて動搖無く議會に臨むだらう、今議會の解散は到底避け難く年が明けてから時機を見て斷行されるだらうが閣僚の一人が變つたからとて政府の對議會策には毫も變りは無い

新年文藝・寫眞募集

恒例により昭和五年新春紙上を飾るべき文藝作品及び寫眞を一般讀者から募集します、左記規定により應募を希望します

短篇小說 一篇十五字詰百五十行、一名一篇以內、編輯局選
和歌、俳句、短詩、川柳 新年雜詠、和歌は一名五首、短詩は三篇、俳句、川柳は五句以內、編輯局選
寫眞 干支に因めるもの、大さキヤビネ以上、新聞掲載に適するもの一名三枚以內、編輯局選
賞金 短篇小說一等三十圓、二等二十圓、三等十圓▲和歌、俳句、短詩、川柳一等五圓、二等三圓、三等一圓▲寫眞一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓
締切 昭和四年十二月五日限、總て「滿日新年文藝又は新年寫眞」と表記し、本社編輯局宛送附の事、應募作品は如何なる理由あるも返戻せず

滿洲日報社編輯局

輸出補償制度は愈よ實施の見込
きのふ關東廳へ入電

州內及び滿鐵沿線に實施さるゝ關東廳の輸出補償制度に就ては目下關東廳は明年度豫算に於て二十三萬圓を計上し盛んに政府當局に對し其實現方を折衝中である、而して右は目下緊縮內閣の折柄とて一般には頗る實現を危ぶまれてゐるとも三十日本廳への入電に依れば同案は既に拓務省は難なく通過目下大藏省に於て審議中にして同省とは商工省よりの希望もあり頗る好意を以て審理中であるので明年こそは愈々實現を見るものと豫想されてゐると

豫算は大體通過
關東廳の異動は大袈裟で無い 議會は明春再開後斷行されん
太田關東長官歸任談

豫算打合せ其他要務を帶びて先月十六日家族同伴上京中の太田關東長官は鄕里に寄り小雨降る一日午前八時入港のうらる丸にて歸連したが、埠頭には神田內務局長、關東廳各部課長、田中民政署長、石本市長外官民有志多數の出迎へあり、長官は船中にて語る

豫算編成は僅か二時間で完了し實に順調に運んだ、關東廳要求の主要なるもの、州內警備費、鹽業試驗場費は

大體無事 通過したが彼の輸出貿易信用補償制度の費用約三十萬圓は商工省で內地だけを直轄にやつて居り之は幾分問題となるだらう、其他新規事業に關しては未だ目下會議を續けて居り五日頃終つて西山氏が歸つて來る迄詳細は判らない

製鋼所の 問題に就いては今回在京中何も觸れなかつた、

關東廳の人事異動と言つても空いた椅子に新しく補充する事は平常から行つてゐる事で取立てゝ大異動をやるわけではないと記者の追求を巧に避けて話頭を轉じ

太田長官歸任 在旅官民出迎

一日朝無事歸連した太田關東長官並びに同夫人家族隨行の小林秘書官、水谷地方課長、佐藤理事官、飽田廳其他は大連まで出迎への神田內務局長はじめ日下文書、藤田學務、西山警務、三浦外事其他各課長高官連と共に數臺の自動車を連ねて旅大道路を旅順に歸着、午前九時五十五分、藤原民政署長、醍醐警察署長、永山市長外在旅有志並びに關東廳高官夫人連多數の出迎へを受けつゝ官邸に入つた、官邸ではシヤンペンの盃を擧げて歸邸を祝ひ十時半解散した

けさ歸任した太田長官と家族

在滿邦商の仕入改善が必要
連鎖商店の指導者美川氏談

大連連鎖商店經營指導者として招聘された美川多三郞氏は神島秘書同伴一日入港のうらる丸にて來連したが船中にて語る

此九月以降歸京してゐて連鎖商店が實際どの程度迄完成してゐるか其後の事は知りませんので先づ何から取りかへるか

實際に當 つて見なければ何とも申上げられませんが大體連鎖商店の各商店が餘り仕入を急ぎ過ぎた嫌ひがあります、最も手數のかゝる店內設備等を最初に手をかけて仕入は後から特に金解禁を前に控えた輸入組合の低利資金を借り入れて現金を以て仕入せば良品が安く手に入るのですが既に早くから何處でも仕入れ終つて

ストック を持て餘してゐる事は不利な事です、以前與々も言つておいたのですが、總體滿洲の商人は商品仕入に就いて改善する必要があります、大量仕入の値段で少量の商品を購入し成るべくストックを少くするのが我々商人としての重要な心得ですが今後連鎖商店

經營に就 いても協力一致此點考慮してやつてみたいと思つてゐます

人事

▲太田政弘（關東長官）民惠夫人令息令孃同伴一日入港のうらる丸にて歸連
▲小林鐵太郞氏（長官秘書）同上
▲辻村楠造氏（元主計總監）同上
▲水谷秀夫氏（關東廳地方課長）同上
▲原田猪八郞氏（原田組主）同上
▲美川多三郞氏（白木屋支配人）同上來連
▲田所耕耘氏（滿鐵審査役）同上歸連
▲遠藤繁淸氏（大連結核療養所長）同上來連
▲クレイトン博士（ブラナモンド社重役）同上來連

滿日晏話

ハイラル　凸坊

甲「とう〳〵支那軍は海拉爾も放棄したんだつてね！」
乙「それやさうさ、ハイヤルだもの……」

天氣豫報

（二日）北の風雨又は雪模樣後晴れ

日出 六、五三　日沒 四、三二
滿潮 前一〇、三五　後一一、九五
干潮 前五、〇〇　後四、三〇

各地溫度

	午前十一時	昨日最低
大連	八、九	〇、二
旅順	九、三	〇、二、四
營口	三、四	〇、六、七
奉天	〇、二	〇、七、四
長春	〇、二、八	〇、二、九

コドモページ

學校劇 正しき道（下）

濱野健三郎

第二幕

―少年の家の應接室、中央にテーブル、椅子、煖爐には火が赤々と燃えてゐる。

少年の父椅子にもたれて新聞を讀んでゐる。

―左手のドアを勢よく開けて、少年が入つて來る。

少年。父さん有りましたよ。ほら（財布を見せる）

父。ほゝう、それはよかつた、どこに有つたの。

少年。雜貨屋の入口に落したんです。僕ね、道をさがしたけれど無かつたので雜貨屋に行つて聞いて見たら初めの中は無いと言ふんですよ。僕困つてね、無かつたら大變でせう。それでもう一度道をさがして見やうと思つて歸らうとしたらあそこの小さい支那人が、忘れてゐたと言つて出してくれたんですよ。

父。そうか、それは何よりだ。これから氣を付けなさいよ。

少年。えゝ、ところがね父さん、どうもあそこの主人がをかしいんですよ。僕が行つたらね、にこ〳〵して出て來て僕が財布落ちて無いかと聞いたら無かつたと言ふんですよ。そして小ハイをにらまへながら、無かつたなと聞くと小ハイは無いと少さな聲で答へたんです。だから僕仕方なく歸らうとしたら。小ハイが有つた〳〵と言つて出してくれたんです。その時の主人の顔つたら無かつたんですよ。

父。ほゝ、さうだつたか、ぢや主人がかくしてたんだな。それにしても其の小ハイは正直だな。

少年。僕もそう思ふんです、そして僕が歸りかけると主人がね、さん〳〵ひどい目に遭はしてとう〳〵小ハイを追出してしまつたんです。

父。それはかわいさうだな。

少年。ほんとうにかわいさうです。それも僕のために追ひ出されたやうなものですから氣のどくです。お父さん、あの小ハイをうちで雇つたらどうでせう。お母さんはいゝボーイがあつたら雇ひたいと言つて居らつしやつたから。

父。それは、いゝところに氣がついた。

少年。では僕が行つて呼んで來ませう。

（少年急いで外に飛び出す）

……間……

少年。雜貨屋の前で泣いてゐたから連れてきました（入口の方を顧みて）遠慮がいらないからお入り（小ハイは恐る〳〵入つて來て少年のお父さんの前に頭を下げる）

父。（ニコ〳〵しながら）あゝ、この小ハイが成程正直さうな顔をしてゐる。お前は雜貨屋を追ひ出されたさうだがこれからうちで手傳ひをしてくれないか。

李。有難うございます。

少年。これから僕と一緒に遊ばうね。

李。ハイ（嬉しさうな顔をする）

少年。ではお母さんにこのことを話をしやう、李君僕と一緒においで

（少年は李の手をひいて退場、お父さんはニコ〳〵しながら二人のあとを見送る）

……幕……

ニドメノ 大チャンノタンケン（152）

ハルミチ作　ジラウ畫

大チャン ハ センシツノ ナガデ ベリスコープ ヲ ノゾクト ウミ ノ ウヘ ヲ オヨイデキル マモノ ノ スガタガ ハツキリ レンズニ ウツリマシタ。

マモノ ハ イママデ ウミノ ウヘ ニ ウカンデヰタ センスキテイガ キユウニ ミエナクナツタノデ キヨロキヨロ アタリ ヲ ミマワシテ ヰマシタガ

ヤガテ ユウユウト オヨギハジメマシタ。大チャンタチ ハ ベリスコープ ヲ ノゾキナガラ マモノニ キヅカレナイヤウニ アトヲ ツケテ イキマシタ。

キミノ カホガ ウツツテルヨ

フユ・ニハ メヅラシイ アタタカナ ヒ ガ ツヅイテ カガミガイケ ノ ミヅ モ ハ・サキノ ヤウニ ヌルンデヰマス。ヒテチヤン ト ターチヤン トハ ミヅ ニ ウツル ジブンタチノ カゲ ヲ ハシ ノ ウヘ カラ ナガメテ シキリニ オモシロガツテヰマス。

―ホウラ アソコニ キミ ノカホ ガ ウツツテルヨ。

―アー キミ モ ウツツテル アツ イマ ワラツタ ワラツタ アハヽヽ

―アハヽヽ オモシロイナア。〔キノフ カガミガイケデウツス〕

冬の童謡

大廣場小學校三年生作品

こじきの子

吉野五郎

こじきの　にいやん
かはいさう
着物一まい
さむいだらう
まい日まい日
さむいだらう
これから雪も
たくさんふるよ
ふればふるほど
さむいだらう
にいやんほんとに
かはいさう
着物一まい
かはいさう

冬の夜

白仁田朗

だん〳〵ふける
冬の夜
さら〳〵こ雪が
ふつてます
かち〳〵ならす
よまはりが
うちの前を
通ります
わん〳〵ほえる
犬のこえ
こ雪さら〳〵
ふつてます

夜番の月

井上浩

冬の風吹く
寒い晩
お空でひとり
夜番する
お月様は
かはいさう
ぴゆう〳〵風が
強く吹く
それでも
月は夜番する
電信柱に
吹く風は
ぴゆう〳〵〳〵と
音がする
それでも
月はたゞひとり
空でひとりで
夜番する
冬の風吹く寒い晩
たつたひとりで
夜番する

みなちつた

松内鋼次郎

だん〳〵さむく
なり出した
きれいな花も
みなちつた
かはいさうに
みなちつた
こすもすえぞ菊
みなちつた
きれいな花たち
みなちつた

兒童の作品

朝

沙河口校一年生　松屋幹三

デンシヤ ノ オト デ メ ガ サメマシタ。トケイ ヲ ミルト モウ 六ジハン デシタ。ソレ カラ ソト ヲ ミ ル ト ユキ ガ フツテ キマシタ。オトウサン ニ キイタラ 雨 ガフツテ カミナリ ガ ナツテ ユキ ガ フツタ ト イヒマシタ。ソレ カラ オカアサン ガ ボク、ノ オトウト ヲ オコシタラ「ナンダ、ユメ ダツタカ」ト イヒマシタ。

カクレンボウ

沙河口校一年生　マスミフサヲ

ボク ハ ジヤンケンポイ ヲ シテ マケマシタ。ソレダカラ オニ ニ ナツテ「マダヨ、マダヨ」ト イヒマシタ。「ヨシ」ト ユツタ カラ イキマシタ。一バン ニ ミツケタ ノハ ボク ノ ネエサン デシタ。アト ハ ミツカラナイ カラ「シンキ、キマツタ」ト 十五ヘン イヒマシタ。ソレ デモ デナイ カラ「ヤメタ」ト イヒマシタ。

和歌

神明高女二年生作品

市橋ツル子

くさむらに硝子のかけら輝きて野の漫歩む青き月かな
×
今宵はもひとりめざめて長廊下あゆめば青き月あかりかな
×
何となく淋しくなれば跫音を立てゝ見るなり午後の教室
×
つたの葉を踏めば冷たき朝の露わが足うすくぬれて光れり
×

須永登代子

誰か知ら跫音わびしく通りけり深きうれひのあるが如くに
×
とんぼ追ふ子を母は目で追ひて一つとるごと笑みて答ふる
×
首たれてろばが買はれて行きました廣い滿洲野の夏の夕べに

新刊教育書紹介

▲學校美術（十二月號）技能的教科の學習過程について、歐米の美術教育、昭和四年回顧座談會その他（東京市下谷區上根岸學校美術協會）

懸賞兒童讀物

締切……十二月五日限り

平安異香（186）

葉多默太郎作　中一彌畫

戀の行方（一三）

散樂——今でいふ輕業をやらうといふ藤丸。

二三十年前には流行つてゐたが此ごろでは滅多に見ないので、こりや受けるだらうと陣十郎は乘氣になつたらしい樣子だつた。

「いゝにはいゝだらうが相棒に困るだらう。笛や太鼓と違つて、こいつは俄仕込が利かねエ」

「なあに親方さん、わけはない——」

といつて藤丸は赤飴のやうな小さな眼をチラと邦貞に向けて、

「この人なら大丈夫だと思ふんですがね。體は輕さうだし、この間のやうに紅殼を塗りや一人前の天竺の黒ん坊で通るんだし、まつたくうつてつけの相棒ですよ」

「だが、お前さん……」

おつねが云はうとすると、

「この人は素人だから駄目だと云ふのだらう。が、こつちが動くんだから、たゞびく／＼しないで、じつと體をこつちへ任せてさへゐりやいゝのだから、誰にでも出來るわけさ。そのうちにゆる／＼仕込はしてやりますがね」

藤丸は獨りで吞込んで陣十郎を說くのだつた。

「さうか」

と陣十郎もその氣になつたらしい。何れにせよ損のゆく話でない——

「邦公、一つやつてみないか」

「……………」

邦貞は當惑した胸の病があるのでそんな激しいものに堪へられるかどうかまづ不安になるのだつた。

で、返答に困つてゐると、

「どうしたんだ」

と陣十郎の聲が變つて來る。

「お前、いやなのか。いやだといふのか」

「……………」

「俺の所では、お前等に一切是が非のとは云はさねエことになつてゐることを知つてゐる筈だつたな。俺に不服ならとつとゝ何處へでも行つて貰ひてエ。もと／＼此方から仲間に入つてくれと賴んだお前ではなかつた。幸の身の代に使つてくれといつたお前だつたな」

邦貞は、じつと唇を嚙んでゐたが、自暴自棄な反抗的な心持になつて、

「やりませう」

といつた。

そして、すぐにその稽古が始まつた。

河堤の斜面に生えた松が稽古臺である。その松の川の方へ眞直に伸びた枝で、初手の膽だめしをしようといふのだつた。が、稽古にかゝる前に、藤丸が邦貞に——尤もその眞底は仲間の者に自分の利口さを見せるためらしく、いやに氣障な口調で教誨めいたことをいつた。

「邦さん、かういふことは度胸一つのものだよ。恐いと思ふと足が竦へて落ちる。平氣でゐりや綱だつて渡れるものさ、誰にでもね。つまりなんだ稽古といふなあその度胸をこさへる方便さ。あたしや親爺からこんな話を聞いた事がある。親爺の弟子に源公といふ薄野呂な男があつて、それがこの散樂を稽古してゐた時の話だが、——梯子の上で、足を引つ懸けて逆樣にぶら下るやつをやつてゐましたのさ。ところがおつかなくてなか／＼うまくゆかない。すると或る夜のこと、その源公が逆釣がうまくやれた夢を見たのです。明日になると、それが夢ではなく昨日のことのやうに思へて大した元氣だつたのださうです。

「親方、今日は何をやらう」

「逆釣をやつてみな」

「逆釣は昨日のでいゝだらう。何度やつたつて同じこつた」

と云つて源公は梯子に驅登つてひよつと足を懸けてきれいにぶら下つたのです。

皆は驚いて、

「やあ、源公、うめえな。昨日とはすつかり樣子が違ふぜ」

と云つたのです。云はれてふと氣がついたんですね、源公の奴。

「あ、夢だつた——」

と云つたかと思ふと足が外れて落ちてしまつた。源公ですか、それつきり不具者になつて一生親爺の厄介者になつたと聞きましたがね——」

映畫案内

新聞の不配達の故障其他は電話四七六七番へ

本年科學界の總決算

科學画報 十二月特輯

近年稀な火山活動 理學博士 渡邊萬次郎
船舶界巨人的記録 日本郵船 原田武
兵器の驚異的進歩 陸軍大尉 淺野一男
醫學界一年の回顧 醫學博士 杉田直樹
建築界一年の收穫 工學博士 岸田日出刀
海軍本年度の進歩 海軍大佐 雨宮厚作
航空界の驚異的發展 陸軍少佐 静谷正男
本年度の考古學界 東大人類教室 八幡一郎
本年度の人類學界 東大人類教室 宮内悦藏
驚異的な本年の土木工事 工學士 池原英治
本年トーキーの進出 歸山教正
中繼に成功の本年ラヂオ界 工學士 妹尾太郎
本年の化學工業界 工學博士 厚木勝基
本年度の天文學界 天文臺技師 神田茂
科學界本年の鳥瞰 理學士 石原純

▼愈々實現せんと工事に着手せる
大西洋の浮飛行場
怒濤逆捲く大西洋上の最も安全な着陸場として多年の理想は實現した。其設計構造は如何、詳細は本號 佐々木民部

最新知識
▼暗夜敵機を探る黒色光線 佐吉
▼國際シュナイダー飛行競技 雨宮厚作
▼ロケツト應用の新記録 一記者
▼超航續力の新飛行機出現 佐々木生
▼『蹄よりモーターへ』の百年祭 佐藤豪

化石學者の大統領 理學博士 早坂一郎
莫斯科から巴里へ 中谷治宇二郎

▼同時に東京で開かれた二大
國際會議傍聽記
世界の耳目を集中した萬國工業會議と世界動力會議の二大國際會議の經過と其收獲をありの儘に記述した必讀の讀物 記者

衛生講座 神經衰弱と其療法 醫學士 富永哲夫

本號特價八十錢 送料三錢
東京市神田區錦町一ノ一九 科學畫報社 振替東京二三九九六

資本金 壹億圓(全額拂込濟)
積立金 壹億八百五十萬圓
本店 横濱市
支店出張所 東京、東京丸ノ内出張所、名古屋、大阪、神戸、下ノ關、長崎、青島、濟南、天津、北京、漢口、上海、香港、廣東、牛莊、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽(一時閉鎖中)西貢、新嘉坡、蘭貢、カルカッタ、孟買、カラチ、マニラ、スウラバヤ、スマラン、バタビヤ、シドニー、倫敦、里昂、漢堡、アレキサンドリア、布哇、桑港、ロスアンゼルス、シヤートル、紐育、リオデジャネイロ、ブエノスアイレス

横濱正金銀行 大連支店

大連市大山通二番地
電話 代表番號 三一六一番 海關取扱所 四七六二番 宿直専用 六〇一五番

大連及滿鐵沿線各地のお客様に申上げます

◆電氣遊園下の連鎖商店街は七分通り竣工いたしました。春風そよ吹く三四月の頃、全部の完成を待つて華々しく開店披露をいたします。

◆此年末は未完成の儘ながら、來る五日から「初歳の市賣出し」を催します。まだ大工の音の聽える中に、お客樣をお迎へする事は誠に恐縮でございますが、どうか東洋一を誇るモダーン商店街の輪廓だけを御高覧願ひます。

◆尤も東京一流のマネキン孃の出場と、一圓毎の福引と、中旬開館の映畫館とは聊か皆樣の御興味を惹くと存じます。各店は亦、緊縮時代にふさはしき徹底的特價品を多數提供いたします。

◆特にお願ひいたします。未成品でございますから、今の姿で連鎖商店を御批評下さいませぬやう。春、全部竣工の上は、坦々たる散歩道路に街路照明美しく輝き、ショウ、ウヰンドウ果てしなく續く百貨店街が現出されます。その時こそは必ず大連及び沿線各地のお客様に、充分御滿足の願へる事を自信して居ります。どうかよろしくお引立願ひます。

いよいよ十二月五日から賣出し

大連連鎖商店街

滿蒙 十二月號 十二月一日發行

中華國(支那民謠) 橘樸
支那に於ける軍閥戰爭の展望 山本紀綱
支那民衆の求むる理想社會 陶希聖
支那土地制度の性質に就て 不關鴎生
大觀小察 經背タイムスが那を打つ、論より證據、自由主義者、佐分利公使、吹毛求疵、詭辨的法權撤廢の意義
周漢の璽印に就て 山口松次郎
筌蹄錄 白鳥通史
支那建築語私稿 伊藤清造
思ひ出るまゝの記(滿蒙社長の總裁に復舊したことに就て) 上田恭輔
滿洲考古資料蒐集餘話(古錢並に飾玉の出土) 梅本俊次
二十年來の支那文壇 徐昇陽
支那劇の女役に就て 山口愼一
◇新譜一讀◇
伊藤清造氏著「支那の建築」 村田治郎
古川氏の詩集「老子降誕」を讀む 大内隆雄
西創生氏編「滿洲藝術壇の人々」 美吐空
昭君出塞(滿洲民謠曲譜) 稻川淺二郎
中日現代美術展覽會 一記者
廟のある星ケ浦風景(詩) 加藤郁哉
名優の死 中幕補(戯曲) 田中渙
狐裘の遺兒(翻譯) 柴田天馬
編輯私記 中講生
◇滿蒙グラフ◇
第三回太平洋會議各國代表
同 支那代表
同 日本代表
協會主催中日現代美術展覽會發會式出席者
表紙「神王」 大野斯文

發行所 大連市紀伊町 社團法人 中日文化協會

耳鼻咽喉科

大連市西廣場三河町角

澤田醫院

電話五四一〇

大連の紙屋 和洋紙各種 製圖用紙 大連小間物通 大山通 光明洋行
電話七〇五九 振替大連三三四〇

嘉納合名會社

大景品附大賣出し

瑞西製 ジュラッシア 各種蓄音器
十ヶ月月賦 百臺一組

景品
壹等 金參百圓也(商品券) 壹本
貳等 金壹百圓也(同) 壹本
參等 金五拾圓也(同) 壹本
四等 金參拾圓也(同) 壹本
五等 レコード(拾枚) 拾本
六等 三打入レコードケース 八十六本
空籤ナシ

申込期間 十一月二十日より 十二月三十一日迄

竄賞其儘と器械の完全は輸入壹萬臺突破にて證明せり

連鎖申込所
連鎖商店街 榮商會支店
沙河口 治洋行
旅順 高橋商會
瓦房店 スター樂器店
大石橋 かぎや商店
營口 金光堂支店
鞍山 金光堂本店
遼陽 弘文堂支店
本溪湖 石原時計店
撫順 高久商會
同 i田時計店
同 能文堂書店
同 ツルタ蓄音器店
奉天 中道樂器店
同 信昌洋行
奉天 ミクニヤ樂器店
鐵嶺 山崎商會
同 上枝時計店
開原 甲原成美堂
同 東澤商行
四平街 中川洋行
公主嶺 小久保商行
長春 金泰洋行
同 阿川時計店
同 平本洋行
安東 榮商會支店

輸入元 大連市浪速町(伊勢町角) 榮商會本店 電話八三九〇番

最新刊

河上肇著 マルクス主義批判者の批判 實價一圓五十七錢 送料八錢
教育研究會著 勤勞教育の理論と實際 實價一圓五錢 送料六錢
松井柱陰著 性格の觀方と導き方 實價二圓十錢 送料六錢
正宗敦夫著 ぎやどぺかどる 上卷 古典文庫 實價五十二錢 送料四錢
正宗敦夫著 ぎやどぺかどる 下卷 古典文庫 實價五十二錢 送料四錢
中島海著 小學校に於ける遊戯體操科指導の革新 實價三圓十五錢 送料十二錢
淺野成俊著 不良少年と教育施設 實價一圓五十七錢 送料八錢
松永安左衛門著 産業改造への途 實價八十四錢 送料六錢
入松潜一著 萬葉集の新研究 實價三圓六十七錢 送料十四錢
萩原泉水著 京洛小品 實價一圓八十九錢 送料十錢
佐多芳久著 腦溢血の豫防と治療 實價一圓五十七錢 送料八錢
鶴見祐輔著 最後の舞踏 實價一圓八十九錢 送料十錢
緒方維嶽著 巨人は斯く教ふ 實價二圓八十九錢 送料十錢
吉田弘著 實驗觀察の指導 實價二圓六十二錢 送料六錢
西脇順三郎著 超現實主義詩論 實價一圓二十六錢 送料十錢
竹友藻風著 アンデルセン童話集 實價一圓八十九錢 送料十四錢
松村武雄著 アラビヤンナイト 實價二圓八十九錢 送料十四錢

大連市大山通 滿書堂書籍部

最新刊

森宣次郎著 日支條約の研究と批判 實價二圓 送料十錢
滿蒙研究會編 露西亞最近の時局と東支鐵道 實價六十錢 送料四錢
小笠原長生著 大海戰秘史 實價二圓五十七錢 送料八錢
山東時報社著 支那の現實 前編 實價二圓三十錢 送料八錢
松村金之助著 鐵道功罪物語 實價二圓十錢 送料十二錢
大朝經濟部 商賣うらおもて 實價一圓五十七錢 送料十錢
白柳秀湖著 日本經濟革命史 實價一圓八十九錢 送料十六錢
伊東清造著 支那の建築 實價四圓七十二錢 送料十四錢
土岐善麿著 柚子の種 實價一圓九十九錢 送料十錢
佐多芳久著 腦溢血の豫防と治療 實價一圓五十七錢 送料八錢
東京日日新聞社著 常識百話 實價一圓五十七錢 送料八錢
池長孟著 戯曲 荒っ削りの魂 實價二圓十錢 送料十錢
太平洋問題調査會編 海軍軍縮問題 實價五十二錢 送料四錢
入見絹枝著 戰ふまで 實價一圓五錢 送料六錢
加藤三郎著 マーシャル フィールドと世界一の大商店 實價一圓五十七錢 送料八錢
片山佐吉著 最新 花札の手引 實價五十錢 送料四錢
片山佐吉著 最新 トランプの引き方 實價五十錢 送料四錢
坂井源次郎著 平易に説いた自動車 實價一圓廿六錢 送料八錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

若槻全權よりメッセージ發表
世界的大事業の成就に最善をつくす

【東京三十日發電】三十日午前十一時ロンドン海軍々縮會議帝國全權若槻禮次郎氏は左のメッセージを發表した

不肖今般大命を拜してロンドンに使するに際し一言所懷の一端を述ぶる事を得るは最も光榮と感ずる處である、御承知の通り軍備縮小の事業は各國の國情著しく相違せる今日の情勢の下に於ては尙ほ幾多の曲折あるを免かれず前途坦々であると云ふ事は出來ない、不肖微力菲才たるも幸にして政府の訓令指導並に

國民の支持激勵を得て

微力の最善を盡して此の重任を辱めざる事を銘記する次第である、世界の平和を確立し國民の負擔を輕減し軍備縮小の實現を期する事は帝國政府の傳統的政策である事は言ふ迄もない、帝國が曾てワシントン會議及びゼネバー會議に參加したのも實に此の大目的に對する誠意の表現に過ぎない、今次ロンドン會議の招請を欣然受諾し不肖等を全權委員として特派せらるゝに至つた事も亦此の帝國政府の意のある處を徹底せしむるがために外ならないものと確信する、言ふ迄もなく軍備縮小協定の徹底を期するためには宜しく世界各國が其の相互の關係に於て一切の誤解及び猜疑を除去しなければならない、これが爲めには關係各國の國防上の安全を確立し各國は相互の國情を諒解し苟くも疑念を挾むべき餘地をなからしめなければならない、帝國政府は未だ曾て何國に對しても

攻撃戰爭の準備を企畫

したるはなく帝國の要求する處は要するに他國の攻撃に對して防禦するに足る程度の軍備である、帝國は何時にても此の意味に於ける最小限度迄の大々的縮小を實行する用意があるもので帝國の主張は實に公正にして合理的のものである、若しロンドン會議に於てこの帝國の主張が各國に依つて受諾せらるゝ事となれば各國は內は國民負擔を輕減し外は世界平和の保障を確立するものである、不肖其の任の重且つ大なるを自覺し鋭意最善の努力を盡さむと固く決意するものであるが、國民一般に於てもこの世界的大事業成就のため充分なる協力と支持とを與へられん事を希望して已まないものである

濱口首相も聲明

【東京三十日發電】濱口首相は軍縮全權送別の左の聲明を三十日午後七時半發表した

海軍々備に關する帝國の方針は常に言明せる如く他の何れの國にも脅威を與へざると同樣に他の何れの國からも脅威を受ける事なく最少限度の軍備を有するにある、而して他の一面に於て軍備の縮小は世界平和と國民負擔の輕減との爲めに極めて必要な事柄である、この二つの目的を達成して帝國々防の安全を保證し國民をして何等の不安を懷かしめざると共に萬難を排して會議の成功を納めることに於て余は兩全權の手腕と力量とに深く信賴するものである然しながら全權をして其の手腕力量を遺憾なく發揮せしむるためには國民的後援が必要なるは申す迄もない茲に於て國民も亦兩全權に對し擧國一致的後援を送られん事を切望すると共に兩全權は此の熱烈なる後援に依つて其の重大なる任務を果されん事を切望するものである

榮譽の全權一行の華やかな鹿島立ち
萬歲の聲に送られて出帆
榮譽の全權一行シャトルへ向ふ

【東京三十日發電】ロンドン軍縮會議全權一行は午後一時二十五分臨時列車にて橫濱西四號岸壁着直ちにサイベリヤ丸に乘り込んだ、一行は見送りの人々と共に船內サロンに集まりシャンペンの盃を擧げて名殘を告げ岸壁に群がる黑山の如き人々は行を盛んにすべく空中に亂舞する飛行機の爆音浮き立つ感激の裡に出帆の時は迫り船內にあつた見送り人が下船すると共に花の樣に飛び散るテープの五彩の波を切つて午後三時榮えの使節を乘せたサイベリヤ丸はゆるやかに岸壁を離れた船內音樂隊の奏樂と地上からの萬歲の聲の交錯する中を船影は刻々に小さく消へて行く帝國の國防軍備の裁量を肩に擔つた人々を乘せてシャトルまで

感激に滿ちた東京驛出發
紅一點の財部全權夫人
特別列車で橫濱へ

【東京三十日發電】全權一行出發の日東京驛頭は感激と亢奮の渦卷だ、晴れの舞臺に上る一行を送る市民は午前十一時頃から丸ビル附近より驛入口へ掛けて黑山のように押寄せてゐる

嚴重な警戒

が要所々々に布かれ不審の者は一歩も近附けない、驛內も正私服巡査で固められ水ももらさぬ有樣である、刻々見送人の數を增して行く驛て一行の婦人令孃達が美しく着飾つてやつて來る、晴れやかな喜びの聲が互に交される挨拶が晴れやかに響く、一行の顏觸れも追々人波の內に現はれて來る、左近司中將の厳めしい顏、外務省の齋藤さんの坊ちゃんのやうな顏がにこにこ笑つてゐる驛て財部、若槻全權感激の渦のような萬歲の聲を浴びながら自動車を乘つける、ポンポンマグネシユームが鳴る中を一行の紅一點財部全權夫人が

花輪にとり

卷かれて立つてゐる、驛て見送りの各閣僚と一行の間に盛な握手が續けられ帝國の名譽を擔つて出發する者送る者の間には萬感を籠め無言の火花が飛ぶ、驛て一行は若槻、財部兩全權を先頭にプラットホームに出で待受けた特別列車に乘込み再び驛頭を搖がす萬歲の聲の內に午後十二時四十分列車は一行と見送り人を乘せて橫濱に向つた

津島財務官渡英す
金解禁に關し

【東京三十日發電】在紐育津島財務官は期限附金解禁で米國に於ける用務は一段落を告げたので二十七日紐育發英國に向ひ十二月一日倫敦着の上ウェストミンスター皇城銀行等の英國財團に對し我國金解禁に就いて爾後の諒解を求めた後一月二十一日よりの軍縮會議隨員として職務に着く豫定であるが更に一月頃より英貨四分利公債二億三千萬圓の借款の準備交涉に着手する事となつて居る

下旬貿易
七百萬圓出超

【東京發電】十一月下旬に於ける外國貿易は（單位千圓）

輸出	五四、一二三
輸入	四六、三八四
出超	七、七三九

で之を昨年同期に比すれば

輸出	一一、八三四
輸入	三〇、〇七四

を夫々激減したので結局本旬は昨年の同旬に於ける入超一千五十萬圓に對し七百七十三萬九千圓の出超を示し依然として出超を繼續しこの調子を以て進めば十二月下旬に於て必らずしも入超に轉換するや否やも豫想を許さゞる狀況である、而して一月以降の入超額を見るにその累計は六千二百八十六萬三千圓となつて昨年のそれに比し一億二千六百八十萬六千圓を減少し更に一昨年のそれに比し九千七百四十八萬六千圓の減少である

滿洲からの提案三案共可決
日本商議定期總會て

【東京特電一日發】日本商議定期總會へ提出せる滿洲關係の三案は何れも三十日の委員會に於て質問應答の結果之を可決し常議員會に於て其實行方法を講ずることになり一日の本會議に報告全部承認されたが其內奉天票暴落による對策として銀券發行方建議の件は問題が問題だけに早急に其目的たる「滿洲の既設金融機關として現大洋引替ノートを發行せしめ之が流通を圖ること」を實現する譯にゆかず各方面の實情を充分研究すべきものとして今後常議員會で調査することになつた、尙右商議總會で可決された議案の內姬路商議提案の「商務官擴張充實に關する建議」に對して滿洲委員より修正の提議あり異議なく、滿洲に商務官設置を追加建議することに決定した商議總會は一日を以て終了す

一氣に廣東問題を解決せんとする蔣介石氏
西北問題成功の勢ひに乘じて
空前の大軍を輸送

【上海特電三十日發】西北軍の一部買收撤退が遂にその全軍を撤退せしむるに至り西北問題解決に奇蹟的に成功した蔣介石氏は其勢ひに乘じて一氣に廣東問題解決を圖るべく空前の大軍輸送を計畫し毛炳文氏の三師陳繼承の八師が既に廣東攻衞主任何應欽に引率されて一路南下したのをはじめ石友三の二十四師、孫光前の十七師、熊式輝の五師其他六師、一師、二師、九師等合計九ケ師約十二萬の大軍が今後五日を出でずして續々南下する筈で之が爲め使用さるべき汽船は總計五十四隻に上り之等は去る廿二日以來當地及長江一帶に於て既に徵發されて出帆を待つてゐる、而して更に西北戰爭に參加した飛行機廿臺は既に漢口より湖南廣東省境地方に出動し一方陳紹寬を總司令とし巡洋艦、砲艦等廿餘隻や軍艦を南下せしむることゝなり內軍艦五隻、運送船二隻は昨日出發南下した、斯くて蔣は陸、海空軍の精鋭全部を擧げて廣東問題の徹底的解決を圖らんとして居り寧ろ西北戰爭以上に力を入れて居ることが窺はれる

廣東奪取は遂ひに失敗か
汪氏は再び亡命せん

【上海特電三十日發】廣東廣西兩軍の對峙狀況に就き當地に傳へられる所に據ると廣西軍は李宗仁白崇禧氏等の舊廣西系と李明瑞楊騰輝氏等の新廣西系及張發奎軍の完全なる連絡成立により約兵六萬を以て廣東攻略を計畫し本日當地支那側に達した情報に依れば李宗仁軍は廿七日肇慶を占領し張軍は廿六日四會を占領し目下兩軍は合同して三水河口より愈々廣州に迫らんとし廣州は危險なる狀態に瀕してゐるもの如くである、これに對して廣東軍は其數約三萬に過ぎず目下總て守勢を執り只管中央軍の來援を待つてゐるが、中央軍の救援が今暫く遲るゝに於ては廣州の守備は遂に困難に陷るものと觀られてゐる、過般來當地には蔣介石氏、汪精衞氏に對し政權讓渡を條件に妥協を申込んだとの說傳はり又一說では兩者間には既に妥協が成立してゐると云はれてゐるが何れも信ずるには足らず蔣の大軍輸送によつてやがて廣西軍の廣東奪取も失敗に歸し汪精衞氏は又も空しく國外に去るのではないかと觀られる

到着前に總攻擊
張軍の計畫

【廣東二十九日發電】張發奎軍は中央よりの援軍到着前に總攻擊に出づる計畫らしく二三日中に戰鬪を開始する模樣である尙中央よりの第一次應援隊の一部は本日午後六時半黃埔に到着した

內外蒙古と提携し呼倫貝爾獨立運動
東北邊防軍の內容を侮辱して
漸く積極的となる

【ハルビン特電一日發】コロンバイル政府の支那羈絆を脫し獨立せんとする運動は露支紛爭の結果支那軍の大敗により國防軍なるものの內面暴露で一層積極的となり外蒙と內蒙一部の聯盟が成立したと傳へられてゐる、外蒙には約八萬の正規國民軍があり其內約二萬は軍隊教育を受け現在は兵役義務は三年である、コロンバイルとの提攜が成立せば東北政權の癌となるであらう

流言蜚語流布に奉天省民の不安
戒嚴令下の如き嚴戒

【奉天特電一日發】北滿の形勢急轉以來奉天省城內には盛に流言蜚語放たれ一說奉天派に對露失政に對し張學良怨嗟の聲と共に恐怖時代を現出せんとしつゝありために學良氏は戒嚴令にも等しく警戒をなしてゐるが本朝來在奉中の張作相氏が監禁されたとの說が傳へられ又戰線にある第一軍長王樹常氏もハルビンに於て監禁されたと傳へ更に財政廳長辭職說が流布され一大恐怖時代を現出してゐるが右は一部の宣傳らしく某消息通は語る

今回の對露交涉は張作相氏の意志によるもので張學良氏としては張作相氏から鼎の輕重を問はれた形で恐らく學良氏としては張作相氏に對して好感を以てゐないであらうがさりとて今の場合張作相氏を監禁するやうなことはよもやなし得まい、果してそれが事實とせんか戰線にある吉林軍はいかに態度を豹變せんも計り難く旁々左樣なことはあり得ないことである

航空會社六分配當

【東京一日發電】日本航空輸送會社は三十日定時株主總會の結果配當年六分案を可決した

露支交涉の難關は管理局長の復任
同問題で東北政權が讓歩せば
行政長官等連袂辭職

【ハルビン一日發電】露支交涉開始に依り去る七月以來武力に依る東西國境封鎖の解除も近づきつゝあるが、豫備交涉の最大難關はロシアの要求にかゝる東支鐵道正副管理局長の無條件復職で支那が之を即座に確認する時は先のクーデターは全く無意味となり且つ支那の面目は國際的に丸潰れとなるので交涉は幾度か危機に瀕するものと解せられてゐる、而して當地支那側ではロシアが飽くまで右要求を主張する時は交涉再び決裂の虞あると鼻息頗る荒く若し支那が之に折れる時は行政長官張景惠以下事件の責任者は連袂辭職することに申合せてゐると

吉林官帖暴落
支那軍不利で

【吉林特電一日發】當地では東支西部線の支那軍隊が海拉爾以東に潰走したとの報傳はるや第一の影響は哈大洋及吉林官帖の暴落で金票對官帖相場は二百四十五吊から一擧二百五十六吊に下落したが市民には海拉爾の陷落は大した動搖の風は認められない然し軍部當局は廿九日來步兵第三四團全部千二百名に戰時武裝せしめて城內外を示威運動せしめてゐる

支那公使館附海軍武官更迭

【東京三十日發電】

支那公使館附武官　海軍大佐　杉坂悌二郎

免本職

補支那公使館附武官　海軍大佐　北岡春雄

給料不渡で不穩行動
武裝を解除

【ハルビン三十日發電】當地駐屯吉林軍第十旅五千名は給料不渡のため前線出動を拒み內百名不穩の行動に出たので武裝解除さる、支那兵が各地で掠奪しつゝあるので住民は支那軍恐怖病に罹つてゐる

民政黨は各地で壓倒的勝利
各府縣議補選結果

【東京一日發電】來るべき總選擧を控へて其前哨戰として多大の興味を惹いた各地府縣會議員の補缺選擧は北海道網走、宮城、鹿兒島千葉の四ケ所を殘し他の三十ケ所全部を終了したが、其結果は民政黨の壓倒的勝利に歸し從來の色分け政友一八、民政七、中立五名の所を一變し、民政は二十八名の當選者を出し政友一中立一と云ふ成績であつた

滿蒙政策に關し松田拓相に進言
庵谷奉天會頭より

【東京特電一日發】昨日拓相官邸に於ける拓務當局と庵谷奉天商議會頭等の會見內容に就いて當日の出席者は一切沈默を守つて居るが元來松田拓相は就任以來拓務省の

機能發揮

に就き深く考慮を拂ひつゝあり省內各局に命じ其關係方面の實狀調査、意見聽取等に努めてゐるが殊に滿蒙關係に就いては先般拓相として初めての滿鮮巡視を爲して以來その行政經濟其他の各種事情につき注意を拂つた點勘からず中央に於て考へてゐたことゝ實際を觀たところと相違する點も多いので今回庵谷氏等の上京を好機として更に其實狀

疑問の點

等を質したもので之に對して庵谷氏等は在滿卅年餘の經驗並に滿蒙の近狀に鑑み忌憚のない意見を述べて當局の參考にした模樣であるが其內容は可成り具體的の問題もあるべくその結果松田拓相の抱負經綸を表はす具體案が今後如何なる形式順序によつて現はれるか注目に値し、やう今後此種の會合、意見の交換は尙屢々行はれんと

安樂椅子

近頃トルコでは「ヴオイヴオ」といふ言葉が流行つて居るが當局は風教上面白からずとあつて巡査に對し若し「ヴオイヴオ」といふ言葉をいふ者があつたら即座に捕へて拘留せよといふ命令を發した▲所がこの言葉は非常な勢で流行して居りお巡りさんは取締りに汗ダクダクの體でこんな言葉が發明されなければなあと溜息をついて居る▲といふのはこの言葉は口でいはれるのみならず新聞に書かれチョコレートにまで刻み込まれるといふ流行振を示して居るから之を何う取締つたものかと思案投首の體だといふ▲處で此の言葉は何處から流行つて來たかといふと元は一人の呼賣商人から起つたものである、彼はスペイン系ユダヤ人でコンスタンチノープルの貧民窟に住み每日鼠取りと小さい旗を以て往來を狂聲を立てゝ賣り步いて居た、少しのろまの處から自動車の運轉手やいたづら小僧が何時でも彼の姿を見ると「フエヴ」（スペイン語、轉じて馬鹿）とさけんで馬鹿にして居た、この「フエヴオ」が訛つて方言の「ヴオイヴオ」になつたのである▲禁を犯した者は立所に手錠を箝められることになつたが菓子や酒などに用ひられるのは一寸取締りやうがないので漸くトルコの大問題たらんとして居る

市政上の暗礁【五】
大連市政は何處へ往く？

（紛糾に紛糾を重ねてゐる市會問題は、問題が問題だけに感情が織込まれ、情實が加味されたりして、容易に正鵠をキャッチすることが出來ぬ、いはば十人十色といふデリケートさを示してゐるが、次には最も公平なる渦中以外の意見を紹介することにする）

◇

大連の市制、こんな厄介なものはないね、自治だか喧嘩場だか譯が分らぬではないか。それといふのも仕事といふ確な仕事がないから、四の五のと喧嘩するより外はないのであらう。が併し、それでは市民こそ迷惑千萬、いい面の皮といはねばならぬ。さればといふて今日、當面の紛糾を餘所に根本的なる制度の改革も泥繩と申すことになり、何が何でも今日のところは紛亂した石本市長問題を解決して行かねばならぬ。若それが出來ぬやうであるとすると、自治體の汚點ともいふべき監督官廳の干涉といふことにならぬとも限らぬ。勿論今日までのところでは、監督官廳の當局も未だ手を出すほどにはなつて居らぬと認めてゐるらしいが、併し目に餘るやうな醜狀を暴露するにおいては、大連自治市政上の一大不祥事を招かぬともいへぬ。

×

そもそも石本市長のいはゆる口約問題に絡んで大連市政が今日の如く紛糾し、醜狀を暴露するに至つた所以のものは、既にその出發點において面白くないことがあつたのである。石本氏が老後の思ひ出として大連市長たらんとした大願望は諒とすべきであらうがそこに無理があつたのである。この無理押しが今日の紛糾を胚胎してゐたものであつて、今さら云々するも繰言に過ぎぬが、ともかく石本氏は自ら市長となり內海安吉氏を助役に据ゑんとして反對に遭遇するや助役案は撤回し自分だけが市長となることに全力を傾注し遂に市政の混亂を來したが中立議員と稱する鶯井、三田、立石三氏の斡旋により石本市長は十一月を期して辭任すべきことを口約したのであつた。

◇

この石本市長の口約問題なるが紳士協約か非紳士協約かといふことに關して今次の紛糾を惹起するに至つたのであるがそもそもその紳士口約なるものが曖昧といへば曖昧なものである。紳士協約である以上は文書にも殘さず、覺書もコッピしなかつたのは當然、調停者やその他の議員の面前で石本式の放送をやつたことは確だ。しかもその石本式の放送たるや十一月になつたら屑よく辭任するとは斷言せず、市長有給案を出し、名譽職の自分としては當然に罷めることとなるといふやうな曖昧とは言へば曖昧、すこぶる抽象的な有耶無耶の聲明、それが取りも直さず紳士口約なのであるから今日になつて辭任するなどとは申した覺えなしといへば、それは確に右の通りであつたらうが、その當時の經緯や事情から察すれば眞逆に辭職するのだぞと念を押す譯にも行かなかつたもの〻如く、そこに紳士協約の紳士協約たる所以で、調停者は勿論、立會つた議員連中も十一月が來たら石本市長が紳士的に市長有給案を提出し自分は屑く任を去るものと領會してゐたものらしい。

◇

然るにその間に月日は流れる、政友會內閣は民政黨の內閣となる石本市長としても紳士協約なるものを、何も眞面目に內容的に解釋するの必要もあるまい、もとより辭職するのだぞと表面的に聲明した譯でもなく、すなはち辭職といふことは一種の諒解といふのであるから、すくなくとも有給市長の抄任に觸れても決せぬ以上は、今さらの如く、あわてて辭職するにも當らぬは勿論、あわよくば、このまゝ居据つても苦からずとあつて紳士口約なるものは十一月も過ぎ十二月に入り遂に非紳士協約といふことにならざるを得なくなつた。そこで罷めろといふ、罷めぬといふ、市長有給案なる助け船を出すといへば、助け船を出す前に罷めねば承知せぬといふ。」

◇

かくて神聖なるべき大連市政も私情や情實の鬪爭場と化し、個人の面子問題などで市民の幸福利益を犧牲にせらるゝことは市民としては迷惑千萬の限りである。市政は何處へ往く、石本市長は何とする。とにかく石本市長たるもの決して晏如たり得ぬであらう、紛糾渦中以外に立つ某消息通は慨然として語つた。

洋行するお人形
文部省が白國博へ出品する

ベルジユーム獨立百年記念の萬國博覽會が明年四月から同國の首都ブラッセル市に於て開催されるが、文部省始め民間から種々の日本製品が出品されるが中にも文部省から出品する御自慢の日本人形は同省の依囑により神田の共立女子職業學校で學生が丹念に製作中の處この程立派に出來上つた、寫眞は其お人形【二人の女學生が養蠶をしてゐる等身大のもの】

不逞鮮人團と交戰し殉職
間島總領事館警察の坪井部長が

【間島特電三十日發】昨今間島地方には暴行を當て込む時局標榜の不逞鮮人が北滿から續々入間し各所を荒してゐるので日支警察當局は逮捕に努めてゐるが、數日前延吉縣理隆礄子附近に不逞鮮人新民府の軍資金募集隊員數名が潛入したとの報に接し總領事館警察より坪井三代治巡査部長が部下十七名を率ゐて現場に急行、三十日未明その寢込みを襲つたところ彼等は拳銃を亂射して猛烈に抵抗し双方銃火を交へてゐる中坪井部長は頭部を打たれて即死したとの報が總領事館に達した

滿期兵二百餘名　懷しい母國へ
きのふ照國丸にて

旅順重砲兵隊及び駐屯軍二百四十名は在滿二個年の軍務を終へ滿期除隊となり陸軍運輸部本部鈴木中佐附添ひ一日午後四時照國丸にて郷里神戸へ向つたが、埠頭には三宅軍參謀長、外各軍務關係者、脇谷在郷軍人聯合會長代理、寺田水上署長、各在郷軍人及び駐屯軍の見送りあり三宅參謀長の挨拶、脇谷代理の送辭あつて吹きなぐる雨の中に大元氣にて戰友の軍歌に送られて出帆した

苦力專用電車
一日から運轉

大連電鐵の勞工專用車運轉に付てはかねて滿電會社から認可申請中であつたが、筋に於ても座席等級撤廢後の實績、一般輿論等を參酌し之を認可することゝなつたので愈々十二月一日より實行されたが右勞工車は朝夕のラッシュアワー時約二時間（差當り朝は九時半迄、夕は六時頃迄）寺兒溝—埠頭線、埠頭—日本橋—小崗子—水源地線、水源地—黑石礁線、常盤橋—沙河口線の各區間に運轉し乘車賃は四錢とし車體は外部を褐色に塗り「勞工專用車」と黑書し座席が板張になつてゐる

自轉車强盜
奉天各所に出沒
三十日三有公司襲はる

【奉天特電三十日發】昨日來奉天附屬地に自轉車强盜被害頻々として起り奉天署で犯人搜査中であるが、三十日午後二時五十分ごろ浪速町石炭商三有公司に又も自轉車に乘れる一名の强盜が侵入し金票四百八十圓を强奪逃走した、右犯人は同一犯人に相違なく奉天署では更に非常警戒し犯人搜査に努めてゐるがまだ逮捕に至らぬ

滿鐵大連道場軍
再び覇權を握る
柔道有段者團試合

一日午前十時より大連滿鐵道場に於て行はれた全滿洲柔道有段者團體の優勝旗爭奪戰は午前に引續き旅順警察署と三州會、武德會が所A組と大連道場の試合を終つて愈々準決勝戰に入つたが結局左の如き戰績で最後の優勝の榮冠は遂に再び滿鐵大連道場の手に歸することゝなり伊佐講道館有段者會幹事より大連道場代表野崎選手にペナントを授與し二時半頃大會の幕を閉ぢたが閉會後同所に於て講道館有段者會々を開き豫算、決算の承認並に明年度內地遠征の件等を附議した

△旅警（一點）—三州（一點）
竹下　×　石津
澤田　○野間口

○星　×　猿渡
森　×　阿蘇
佐々木　×　平山
（決勝）

△大武A（零）—大道（二點）
齋藤　×　岡部
井上（弘）　○野崎
佐分利　×　宮崎
三間　×　今里
井上（晋）　○大野

準決勝戰

△旅警（三點）—沙道（一點）
○佐々木　中村
森　○西村
○星　田中
○澤田（石）　大畑
竹下　木村

△大道（二點）—醫大（零）
今里　×　松澤
○野崎　川畑

△旅警（一點）—大道（三點）
大野　×　雨森
○宮崎　安武
岡部　×　菱沼
森　○野崎
澤田　○今里
竹下　○岡部
○佐々木　宮崎
星　×　大野
（決勝戰）

中學武道大會成績

大連商業學校道場に於ける第三回男子中等學校聯合武道大會の午後は十二時三十分より引續いて行はれた、午後二時三十分試合を終つたが三本勝負は午前中に終り午後は高點試合で、主なる成績は次の如くである

▲劍道青年組　一等吉村（旅順一中）七本、二等酒井（大連二中）五本三等河野（旅順一中）五本
▲同幼年組　一等林（大連一中）九本、二等黑田（大連商業）六本
▲柔道青年組　一等加藤（大連一中）五本引分一、二等伊佐（大連一中）二本引分一、三等作花（大連二中）二本引分一
▲同幼年組　一等野村（大連二中）四本、二等橫田（大連二中）四本

立教軍優勝
關東ラグビー戰

【東京特電一日發】明大對立教の關東ラグビー爭霸戰は三十日神宮競技場にて擧行、十對六にて立教遂に覇權を把握した

埠頭の年末警備

大連埠頭では年末を控へ構內警備を更に嚴重にする必要から十二月十日午後一時より埠頭事務所、福昌華工、水上警察署等の首腦者參集打合會議を開催の筈

探偵綺譚
黑のマスク男が
五百餘圓を握るまで
變裝―僞刑事―印鑑―大連署

大連署司法係では三十日午後二時頃から刑事の總動員を行ひ同三時五十分ごろ梅村刑事の一隊は山縣通り一八大倉ビルの前に於て大連對馬町二九法律時報記者森尾惠（三〇）尖端を行く智能犯人として取り押へ本署に連行、詐欺被疑者として留置した

同人は二十七日朝、黑のマスクをはめ鳥打帽を眼深に冠り變裝の上、大連署の刑事なりと詐稱し壹岐町二一の二麵麭屋木村屋支店こと內山富男かたに至り「電話詐欺で貴方の方にも被害があるらしいのでやつて來たが秘密にしてゐて呉れ」とその儘歸り同日午後再び同家へ赴き貴方の印鑑を使用してゐるらしいからその印鑑を貸して呉れと迫り拒絶されたので白紙へ二個捺印せしめ三十日午前十時ごろ三度內山方を訪づれ內山を同行し警察署の廊下に待たせて印鑑を借り受けた

その儘司法記者俱樂部室に入り、西通り三五正直洋行こと中村彌三郎から內山の電話「五六二〇」番を抵當とし金六百圓を借用する電話賣渡證に捺印、何喰はぬ顏して僞造私文書を行使し返濟期日を一月三十日と決め金六百圓を小切手で借用、更に正隆銀行に赴き小切手を五百五十二圓五十錢に割引して受領し逃走したもので、宛然通り魔の如くその手段の巧妙なのに流石刑事連も舌を捲いてゐた

巨匠大家の作に成る
新傾向の窯藝美
現代的の作品が多い
「今の九谷展覽會」を觀る

九谷窯陶會主催の「今の九谷展覽會」が三越に開かれた、出品數三百六十點、作品の全部が現代作家の構圖、窯藝になるもので、美術工藝の

最高權威　たる帝展及び商工展に入選した石野龍山、柄本暁舟、中野講雄、中村翠香、利岡光仙、松本佐吉、由良孤舟などの巨匠大家の作品が多い、出品の種類は

▷花瓶、置物、香爐、香盒、煙皿茶器、湯呑、珈琲具、鉢物、酒器

等で華麗な物、淸楚な物恰も百花撩亂の花園のごとく美しく展開されてゐる、九谷といへば金色を多分に配した俗趣味のものが多いやうに思はれてゐたが、この誤解を一掃するために金澤地方の

窯業家が　精進苦心して淸新な九谷燒を創出したといふだけに、現代人の嗜好に適する意匠、圖柄、配色の物が多い、色鮮やかな釉の色、原始的の土の香、透徹した白磁の冴え、新鮮味を帶びた窯業藝術の特色がその一つ一つに遺憾なく表はれてゐる、而して今回の企ては洗練された郷土藝術の新傾向を廣く宣傳といふ目的であるために一個廿八圓もする高級湯呑の類から、五個一組五十錢程度の盃の類に至るまで廣く網羅してゐる、尚同會は六日まで引續き開くさうである

乳兒脚氣の早期診斷
荒川氏の發見

【仙臺一日發電】東北帝大醫學部教授會では三十日仙臺市北四番町開業醫荒井堪氏（三一）の提出論文「母乳のペルオキシターゼ調査法」に對し醫學博士授與を決定したが右は我國乳兒の死亡率の大部を占めてゐる乳兒脚氣を防ぐため母體の脚氣を早期に診斷する法を決定したもので少量の母乳と藥で反應試驗して二、三分で此反應を知る銳敏な反應藥を發見したもので世界の醫學界に大きなセンセイションを惹起すものとされてゐる、氏は生粹の仙臺人で四十五の年から此研究に沒頭して發見した篤學の士である

師走を行く
不景氣風の總決算
死物狂の歲の市
三越まで夜間興行を策し
頭痛鉢卷の商店街
(一)

財界を鉛の如く凝固せしめに續く不況と緊縮の叫びの內に昭和四年の總決算月、暮の十二月も愈々新一日の暦を繙いだ、師走月の慌ただしさ、狂燥鬱勃たる焦心は市中街頭に亂舞と躍る紅彩繽紛の賣出ビラ、旗幟廣告塔、陳列窓の中に匂はせてゐる而も既に西公園町に於ては近代資本の怪物的な威力を物語るところの滿鐵消費組合中央配給所が營業を開始し豐富なる商品と組織的經營法を以て其宏莊なる建物の內に市中商人の唯一の顧客である滿鐵社員を吸收して了ひ又大資本に對抗する小資本經營の合理化の叫びを以て生れたる連鎖商店も既に完成し來る五日より華々しく開店を兼ね年末の賣出に新ショッピング、ストリートを開拓し顧客通過の地の利を得て市中商店街への咽喉を扼さんとする今日、從來の商衞浪速町盤城町一部の諸店舖は此三方鼎立の危機を孕んだ試練の年末賣出に當つて如何なる對策と打開策を講ぜんとするか……

◆　◆

浪速町通りは本年は特に二丁目より四丁目に亘つて聯合して一齊に紅白の柱を立て、辻々にはアーチ形の廣告塔を揭げて輸入組合參加商店が、一日より景品付歲暮大賣出の火蓋を切るを切掛に一町一帶歲暮特價大賣出を決行し華々しき共同戰線を張る、殊に伊勢町角、大山通角に歲暮大賣出と大書せる紅白煉のアーチに師走氣分の走りを見せてゐるが、各店が全部歲暮賣出しの華氣分に店頭の裝ひを變へ出揃ふのは十日頃からだらう、

◆　◆

盤城町も映畫館大日活の完成により元氣づき將來商店街の中心地は此處と、各町聯合賣出しを廢し新生の華々しき意氣を以て計畫を立ててゐる

洋品屋さん受難
暖氣と不景氣が祟り
賣行は例年より三割方少い

十一月も既に過ぎて愈々けふより暮の十二月に入るが本年は怎うしたものか何時迄も暖氣が續き貧乏人にとつては緊縮の折柄大助かりだが困つたのは市中の洋品屋さんで今迄襟卷、手袋等防寒具の賣行が非常に惡く例年に比して三割方賣行減少を示してゐる、又奧地方面でも同樣でかてゝ銀安の爲め支那人側の購買力減少し茲許多の滿洲洋品屋さん受難時代とある

此邊に注目すべきは從來數十年の暖簾と大資本の確固さとを以て儼然と獨自の地盤を有してゐた三越が今回滿鐵消費組合の竣工に依り異常なる恐慌を感じ其對策上此歲末賣出しに當つて夜間營業を決行せんと密に準備を進めてゐる事で此事は亦ひいて浪速町各商店に對して大なる恐慌を與へてゐる

浪速町某有力者は語る

浪速町では此年末には滿鐵商店は未だ問題にして居りません、併し消費組合が出來たため三越が對抗上年末に夜間營業をやるさうで浪速町商店にとつては可成の打擊です、歲末賣出が始まるのは大抵五日後からが多いでせうが、緊縮の騷ぎしい折柄不景氣は覺悟の上で何處でも例年より仕入を二、三割は控えて成るべくストックが出來ぬ樣注意して居る樣です【寫眞は歲暮大賣出しの飾をした浪速町】

島德藏氏收容さる
背任橫領罪で

【大阪三十日發電】今朝大阪地方裁判所檢事局に召喚金子檢事の取り調べを受けた島德藏（五）及び宇田貫一郞兩氏は午後七時半背任橫領の罪名の下に大阪刑務所北區支所に收容された

拳銃密輸の船員に判決

ドイツ汽船タイガー・リクスマース號乘組船員の拳銃密輸に對し三十日午後三時大連地方法院小田判官は左の通り判決を言ひ渡した

▲罰金百五十圓　フイツシヤー、リツツケー、ロメイカツト、ウツカーカン
▲罰金八十圓　ピンヤス
▲罰金五十圓　ハンスオツクセー、ウイリーフオルケンラ

北滿の避難民上海へ

露支交戰の結果支那側不利となり北滿地方の民心は極度に動搖してゐるが各地に續々避難する者多く一日三十餘名のハルビン在住の郵便局、銀行員等の支那避難民は大連經由午前十一時出帆の大連丸にて上海に向つた

けふのラヂオ

昭和四年十二月二日（月曜日）
自午前十一時　市場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、露語講座　第二十六課　大連語學校　プローズマン
三、三曲　おもかげ（尺八）小笠原米山（三絃）森川とし子（箏）木下初榮
四、淸元　夕立（淨瑠璃）牧初太郞（三味線）淸元延園松
五、映畫物語　希望（解說）松葉詩朗（伴奏）帝國館管絃部
六、支那唱　昭君出塞（唱）闊香雲（胡弓）揚柳亭
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

滿日地方版

奉天

重任を了へた滿期除隊兵
歡呼聲裡に內地へ

在滿邦人の生命財產保護の重任を果した奉天獨立守備隊滿期兵第二三大隊百九十名は卅日午前九時發安奉線列車で懷しの故國に向け出發した驛頭には寺內守備隊司令官を始め村田駐劄隊長、太田地方事務所長、警察署長、木下在鄉軍人分會長、國粹會、青年團、赤十字、警察官、憲兵隊、駐劄隊、守備隊、大、中學、教職、各小學校兒童各町內會その他各知名士多數の見送りあり近來にない盛況を呈した別れを惜むもの歸鄕を急ぐもの等で出發前は悲喜交々であつた猶出發に際し見送り人一齊に萬歲を唱へ若人の前途を祝福した

その多くは金錢貸借關係による說論、逃亡者探し等で就職を希望してゐるものも相當あると

十年間貞操を守つた女

朝鮮忠淸南道旭町居住鮮女姜二禎（三）は三十日奉天署にその夫なる金在斗の所在搜查願を差出して來たが姜は大正八年金と正式に結婚しその翌年金は突然家出したので只管その行方を搜查してゐた處風の便りで金は奉天に來り滿鐵圖書館にゐる事が判りその夫と添はしてくれとの願ひに奉天署でも出來るだけ力を添へることゝなつてゐる鮮女にして夫思ひに今日まで十年間貞操を守り來つたのは珍しいと

酌婦の玉代五圓に値下

財界不況と緊縮風に煽られ最近の花柳界は火の消えた樣な寂しさである、一方大連の玉代値下に刺戟され之等かの對策を講ずべく柳町三業組合では寄々協議を重ねてゐたが種々異論あり結局酌婦玉代臺付七圓と臺なしで五圓との二說に分れ目下研究中で臺無し五圓が時代に適應せるものとして有力になつてゐるため近く五圓に決定するらしいしかし藝妓の線香代は一本五十錢を四十錢に値下すべく之れは異論なき模樣で前玉代決定次第線香代をも實現する筈である、尙十間房及鮮人酌婦も之れに應じ値下げするものと見られてゐる、因に現在奉天花柳界における玉代は全滿大連を除いた他と比し最も高いと

二日の大斷水

奉天地方事務所水道鐵管取換ポンプ改築のため二日午前零時から三時迄全市に亘る大斷水を行ふと

駈落藝者取押

大阪市難波新地で藝妓を稼いでゐた森田君子（二三）假名は昨年十二月末情夫龜井昇（二五）假名と共に前借千五百圓を踏み倒して滿洲方面に駈落をなしたので獵て搜查中であつたが兩人は他の女一名と共に渡滿し撫順に來り更に今夏來奉し八幡町某宅に潛伏中卅日漸く搜查し目下取調中である、しかし係官に對し兩人は死んでも別れぬとか奉天を去らぬと頑張つてゐるので係官も國元に照會すると共に自活の途を講じてゐる

人事相談で大繁忙
昨今の奉天署

年の瀨を前に控へ當地には人事相談所といふものが別にないため滿洲は勿論朝鮮內地から關係と來奉し奉天署に人事相談に來るものが逐日增加し昨今日曜をは每日十數件の多數に及び係官もテンテコ舞ひでその處理整理に努めてゐるが

◇

四五日頃來奉する事に變更された

特務機關は豫て溫泉俱樂部前に新築中であつたがこの程完成したので十二月四、五日兩日移轉すると

◇

スケート界の活躍期に入つてゐるが本年は季節外れの暖かさにリンクを應用する事も出來ず僅か溜池のみを利用してゐる用具の價は昨年と大差なく大體左の通りである

大人用スケート靴七圓位から十二、三圓子供三四圓位から十圓內外、スケート金具大人練習用が四圓五十錢位からあり常用七圓五十錢から十二、三圓迄

◇

渡米の途次渡滿する吾等のテナー藤原義江氏は來る四、五の兩日大連で告別獨唱會を開くが奉天では七日夜春日小學校講堂において獨唱會を開催することになつた會費は二圓軍人學生八十錢であると

◇

卅日朝撫順古城子河附近で三名連の電線泥棒を巡察の守備兵が發見し直に逮捕し目下取調中であると

人事

▲寺內守備隊司令官　廿九日來奉
▲加藤咄堂博士　三十日撫順へ
▲松田朝鮮參謀　二十九日安東へ
▲淸水本溪湖署長　同日歸任
▲大岩地方係長　卅日午後三時半發急行にて大連に出張三日歸連の筈
▲萬國工業會議出席スチーブン氏　卅日安奉線急行にて來奉ヤマトホテル
▲ダーター氏（太平洋會議印度代表）同上
▲韓麟生氏（吉長鐵路局長）廿九日來奉
▲周四洮鐵路局長　廿九日來奉
▲傅增湘氏（前支那教育總長）家族同伴卅日日本內地より來奉

特別議員後任

大關貨物主任の轉出で缺員となつてゐた鐵嶺商工會議所特別議員は二十九日議員會協議の結果後任貨物主任小平一氏を推すに決定した

る事となつてゐるが青年團在鄉軍人分會婦人會其他各團體は勿論市民多數も親く驛頭に出迎へて頂きたいと

町の便り

一日來奉する筈であつた日活映畫女優梅村蓉子は都合により十二月

鐵嶺

巡警射擊匪賊
遂に罪狀を自白す

二十九日未明新臺子郊外に於て巡警二名に重傷を負はせて逃走した馬賊事件は其後何時附屬地內に潛入するやも知れずと宇野警部補は近藤部長以下同地派出所員を督して嚴重警戒中同日午後二時二十分ごろ犯人の一人が新臺子吉野町二丁目奧村政雄方に潛伏せるを被害者たる白沙坨子警長（二八）が日本官憲に急訴せるより宇野警部補以下周到なる用意の下に同家へ踏み込み裏屋の溫突で橫になつてゐたのを難なく逮捕し派出所に引揚げ取調べたるも强情にして實を吐かず身柄を一先づ同地出張中の鐵嶺公安局長劉成文氏に渡し更に物的證據を擧ぐべく活動の結果同日午前六時吉野町二丁目金銀細工業張泰長方に腕輪及メッキ鏨形其他細工品を賣却したる者あるを探知し同家に就いて取調べ證據品として鏨形一ケを押收被害者盧長海及店主張泰長を呼出し首實檢をなさしめたるところ本人に相違なく鏨形も被害品たる事確實なるに動かすべからざる證據品を突きつけられ包むに由なく自白したが身柄及證據品は即日二十七列車で鐵嶺に護送支那側に引渡し取調べ終了後一件書類を日本側に迴送する筈であるが劉公安局長は着任早々此事件で日本側の協力により犯人の逮捕を見たので親く本署を訪れ深甚の謝意を表した逮捕された犯人は鐵嶺縣屬窩棚劉萬保（二七）といふ百姓であつた

憲兵隊の異動

鐵嶺憲兵分隊員高軍曹の除隊に伴ひ小異動が行はれ後任には目下東京に修學中の鄉下上等兵が伍長に

軍人會長後任

赤堀前分會長死亡後缺員となつてゐた鐵嶺在鄉軍人分會長は二十八日評議員會の結果滿場一致河村常次郎氏を推し就任決定した

昇任補缺となり來年六月卒業後任それまでは缺員とし上等兵後任には公主嶺より水谷勉上等兵が任命され又開原分遣隊では石木伍長除隊につき後任として長春より池田福雄伍長が任命された

初年兵
けふ午前來着

新設守備隊第一回の初年兵……午前十時二十五分着列車……するが鐵嶺には始めての……る事であり長途の勞を……戶では國旗を掲揚歡迎……

撫順

一擧に十六名の石炭泥棒を逮捕
三十日揚炭古城子で

撫順炭礦の石炭泥は近來益々……を極めつゝあるが二十九……人十五名を送致したる翌……前六時頃又も古城子露天掘……ども引きも切らぬ蠅の如き集團……はれたとの急報に接した撫……は署員急行逃げ場を失へる……六名を逮捕したが留置場は……入れる事を出來ずその儘……てゐた

開原

邦人宅へ二人强盜
二名を傷つく

二十九日午後七時四十五分頃昌圖附屬地昌圖大街四原籍大分縣大分郡桃園村二二八竹內新（三三）方に二名の强盜が表入口の開門を迫つたが同家炊事夫原籍昌圖城內馬雲成（三）が何心なく開門したるに賊は直ちに拳銃を突き付けたれば驚いて同人は戶外に飛び出したのを賊の一名が之を追跡して射殺せんとしたるが同人の左上膊部に貫通銃創を負はせたのみにて同人は逃走して驛に到り驛取締巡查に此旨を屆出た一方同家苦力原籍昌圖城內丁芳（一〇）は何事ならんと寢室を出でたるに出合頭に一名の賊が同人に發射し右腕に貫通銃創を負はせた丁は其儘居室に戻りたるが馬が戶外に逃走せるは屆出せるものならんと察知せる賊兩名は一物をも奪ひ得ず橫丁より裏道へ逃走したと屆出により警察にては直ちに現場に臨檢し嚴重搜查中同家にては竹內が從來病身なると妻が最近

五日から野犬狩

常附屬地では來る五日より十五日まで十一日間に亘つて野犬驅除を行ふ由愛犬家は犬牌又は飼主の名札を附すやうにされたいと

編物講習會

創案者尼子松代女史を講師とする尼子式編物講習會は一般家庭婦人方より非常に期待されてゐたが愈々今二日より五日間家庭副業研究所に於て開催される由會費五日間で五十錢で產品のみでなく副業としても確實なる收入を得る程度に至る編物講習であるから多數婦人方の出席を勸誘すると申込は別に要せず本日午前十時までに研究所へ出席されたしと

献金申出で

村山シズノさんは金十圓を國債償還基金にとて警察署に献金差出されたと美はしき赤誠の現れである

除隊同午前九時二十八分發の列車にて奈良隊長以下戰友諸士在鄉軍人分會員小學校生徒並びに官民有志の盛んなる見送りを受け川崎所長の送別の辭布田軍曹の答辭奈良隊長の訓辭あり祈禱道驛せる列車に乘り込み三田軍人分會長發聲にて萬歲歡呼の裡に出發離開した因に鈴木上等兵は除隊に際し伍長に任官したと

大石橋

除隊兵
勇ましく出發

既報滿二ヶ年間酷暑嚴寒と戰ひ鐵道守備に在留邦人の生命財產保護に其大任を全うし十一月三十日滿期除隊となつた三十五名は同日午前四時二十五分北行第十七列車六十六名は同六時四十五分南行第二十列車で內地に向け出發されたがホームには軍憲官衙小學校滿鐵の各部居住民擧げて見送り河內地方事務所長より犒勞と希望の送別辭あり萬歲歡呼裡に出發した

加藤氏講演會

加藤咄堂氏は五日午前八時驛教堂に於て現業員諸士の爲めに講演さるゝ事に決せるが既報の如く公會堂に於て開催不能となりたるにより希望者の隨意聽取を歡迎すると

排日ビラ

配布犯人

支那町兩替商李芳潤（三三）は此間日本軍憲に對しての排日行動及重大なる陰謀宣傳ビラを配布せる嫌疑の下に警察署に檢束されたが取調の結果本人には斯る重大性なく單に或る者に教唆されたる事略判明し村長等數名の保證により保釋された

木局へ强盜

去月二十九日午後六時半頃附屬地

本溪湖

煤鐵公司の電燈料値下

電燈料値下げは十二月一日より實施することになりたるが現下不況の時に當り時宜に適したる處置であると市民は非常に歡迎してゐる是れに依る煤鐵公司の減額數千圓であると云ふ

歸還兵出發

守備隊滿期兵小林軍曹以下……名は十一月三十日任務を終り歸還することゝなり午前十……列車にて出發せしが全市民……盛るゝ見送りにてホームは……れた

石橋大街一三三同和順木……方の炊事夫が外出先より……ち居り同時に侵入するや……ーゼル拳銃を突き付け脅迫……票現大洋票取り混ぜ金換……七圓餘を强奪し姿を晦ま……挨せる當警員は早速現場に……も賊の逃走後にて引返せ……の盧家屯の一味らしと

鞍山

敎化總動員し映畫會と講演會
愈よ來る十日開催

……動員に關する協議會は既報……三十日午後一時より警察署……に於て開催された、列席者は……公私經濟緊縮委員會支部長、……青年團長、梅根修養團支部……矢澤中學校長、日向小學校……久留島在鄉軍人分會長、渥……青年聯盟支部長、梶野神職、……西本願寺、馬場日蓮宗、上……光教各主任等……木署長より動員の內容に就……の說明あり、動員の目的を……する爲めに各團體を一丸とし……化聯合會を組織する事を協定……各團體獨自の立場からも適……る方法に依つて運動を起すこ……なつた、しかして總動員を起……提として來る十日頃演藝館に……講演會及び講演會を開催して……公開する事に決定した、尙……聯合會には會長及常務委員を……動員に關する凡ての事務を……すべく會長には林地方事務所……松木警察署長を推擧する筈で

除隊兵出發

滿期除隊兵は三十日午前六時十分發列車で懷しの歸國の途に就たが驛頭には林地方事務所長、加藤實業協會長、植田青年團長、井上郵便局長、增田、山崎、三重野各地方委員、長井、堀兩區長、久留島在鄉軍人分會長、石橋事務課長、伊藤地方係長其他多數の見送りがあり盛況であつた

緊縮委員會役員會

公私經濟緊縮委員會鞍山支部では三日午後一時より地方事務所に於て役員會を開き敎化動員に關する件に就て協議する由

松木署長招宴

松木警察署長は二日午後五時半から林地方事務所長、太田驛長、井上郵便局長、各新聞支局長を觀……に招待し懇親會を催すと

自動車荷車と衝突

三十日午後四時頃正隆銀行支店前

遼陽

滿鐵社員の献金額
本俸の百分五

滿鐵社員會遼陽支部聯合會では評議員會で申合せの結果各自本俸の百分の五に相當する金額を國庫へ献金すべく取纏め中であるが鞍山大石橋等との振合もあり且、献金と云ふ趣旨からして一率に百分の五と限定する事に付て多少異存の向もある模樣で結局百分の五の範圍內に於て任意に献金すると云ふ事に落着するならん、因みに機關區員一同は石炭消費節約や百萬キロ無事故褒賞等で本社から交附された金額の內から金一千圓也を献納し遼陽工場の菊地監督氏は罪罰で金五十圓也を献金した

……國光、紅國光、倭錦、倭錦、鶴の卵、鳳凰卵、玉霰、寶玉、ワイソサップ、ウインター・バナナ、柳玉、青龍、緋の衣、日の丸、大珊瑚、印度、鷄冠（以上苹果）白梨、紅梨、菜陽梨（以上梨）でいづれも甘露したゝらんばかりの美果であつた、尙組合員外の參考品も多數あり非常の盛會裡に一同充分のメートルをあげて散會した

熊岳城

果樹組合の慰勞試食

……

滿日家名 敗退將棋（其四）
【志澤氏一回勝二回目】
香平交左香落　四段　鈴木△
三段　志澤▲　吉春

【盤面以下指方】
▲三四銀△七七角▲三三角成△同歩▲同銀△四六歩▲同銀△同桂△五五歩▲六六歩

持駒　鈴木氏　ナシ

【對局者の感想】……四五歩と……八飛と廻つて……いて置く手もあつたが……た。

【大崎八段講評】……計り强く戰ふ意味なる……次に六五歩は過激の如……く戰はんとする手段に……

【新刊紹介】

愛慾の窓（175）
戶川貞雄作　淺枝次朗畫

犧牲（五）

倭文子は眼を伏せた。卓子の上で輕く執られてゐた手を引いて、膝の上に重ねると、彼女はその上に視線を落した。

倭文子は口を噤んだ。そして胸の奧深いところからひそかに嘆息を洩らした。

――あゝ、でもわたしは小森英輔の妻なんだわ……

「……いつか、わたしは誓ひまし

……許して、すなほな女の愛情のうちに、この人の汚れた魂を溶かして上げよう！、さうして新しい生活へ出で立たう！

淚の一杯になつた美しい眸で倭文子もまた英輔の顏をぢつと見返

……

「いゝえ！、決して遲くはありませんわ！、お聞き下さいまし、わたしも今こそ誤解を解いて頂かなければなりません」

と倭文子はハッキリ云つて擧げた。

「……わたしは草野さんと何の關係も御座いません！、誤解なつた寫眞、あれは全然わたし身に覺えのないことなので御座います。あの寫眞はわたしでは御座いません！、わたしはあなたを知る前には、兄と一緖に上京の途中、草野さんとは箱根でふと出會つたことがあつたきりなんです。それきりです、何うしてあの方と關係なぞが御座いませう、これはハッキリ信じて頂きたいんです……わたしはただ一緖になつたゞけ……んが身に覺えのない罪のためにんでゐらつしやるのを……思つてゐるきりなんです……

だが、果してそれつきりか？　自分の氣持の底には久彥に對する思慕の情めいたものが、果して少しも潛んではゐないであらうか……？